

施策の概要(PLAN)			主管課	市民協働・男女参画推進課			
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	秘書広報課、防災危機管理課、地域安全課、文化スポーツ課、障がい者支援課、生活支援課、環境政策課、公民館		
No. 施策名	1 地域社会における新たな関係をめざす						
施策の分野	1 地域活動・参加と協働	2 地域の拠点	3	4	5		
施策の展開	<p>市民と行政が相互に協力しあい、地域活動に参加することによって、地域社会における市民と行政の新たな関係の構築を進めます。</p> <p>地域の自立性や自主性を尊重しながら、地域での協力関係や信頼関係をさらに高めていくための拠点として、地域センター等がそれぞれの施設に応じた多様な機能を発揮し、効率的な活用を目指します。</p>						

施策の成果指標と実績(DO)			単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
成果指標	①	市民活動支援センターの登録団体数	目標	団体	—	116	118	120	120
			実績	団体	115	117			
			進捗率	%	—	97.5%			
	②	市民活動支援センターの利用者数	目標	人	—	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	人	10,017	9,894			
			進捗率	%	—	98.9%			
	③	地域連携のための会議等の開催	目標	地区	—	2	3	3	4
			実績	地区	1	2			
			進捗率	%	—	50.0%			
	④	利用者数 (地域センター、元気村の合計)	目標	人	—	790,000	790,000	790,000	790,000
			実績	人	796,287	781,991			
			達成率	%	—	99.0%			

施策内事業の集計	単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	総コスト計	千円	374,596	397,692		
	事業費	千円	335,083	357,633		
	人件費	千円	39,513	40,058		

施策の成果についての総括(CHECK)			
成果	目標達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由
	<p>市民活動支援センター団体登録数等が目標を上回る実績をあげて、地域活動の促進が図れたことから適切に成果をあげたと評価しました。</p> <p>◆市民活動支援公募事業は、各団体から14件の提案を受け、審査の結果、12件の提案を採択し、事業実施とあわせて、NPO等との協働の推進を図るとともに、地域の課題解決に向け市民の参加を効果的に促したことで、一定の成果が見られました。</p> <p>◆地域センター19館及び小平元気村おがわ東ともに、平成29年度においては、利用人数が減少していますが、多様な担い手が「地域の拠点」として活用しています。</p> <p>◆学園西町地区、小川西町地区で地域連携のための会議が行われています。</p>		
課題	<p>◆多様な担い手が協働して自主的・主体的なまちづくりに取り組めるよう、市民活動支援センターとともに、市民や市民活動団体等及び市との協力・連携を促進するためのネットワーク構築を支援する必要があります。</p> <p>◆各施設に求められる役割を尊重しつつ、地域の拠点として機能及びサービスの向上並びに効率的な運営に向けた取組みを行う必要があります。</p>		

施策の方向性(ACTION)										
事務事業の動向	拡大	2本	維持	15本	改善	0本	縮小	1本	廃止	2本
施策の方向性	<p>◆市民等の自主的・自立的な地域活動を支援するため、地域活動を行っている団体や関連機関が連携して、顔の見える地域関係が構築できる仕組みづくりを引き続き進めていきます。</p> <p>◆市民活動団体を新たな公共の担い手として地域でどのように活かしていくか、団体に対する支援のあり方や協働の推進に向けた取組みをどのように進めていくかを検証し、次のステップにつなげるため、「小平市協働の推進に関する指針」の改定を行います。</p> <p>◆地域コミュニティの機能を担う施設として、公共施設の設置目的を尊重しつつ、維持管理の充実をはじめとして、施設の利用形態や利用状況を把握し、「地域の拠点」として様々な側面から施設の今後の方向性を検討していきます。</p>									

平成29年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	30年度の 動向	施策の 分野
1	市民協働・男女参画推進課	自治会助成事業	28,186	24,440	3,746	維持	1
2	市民協働・男女参画推進課	市民まつり事業	11,551	7,805	3,746	維持	1
3	市民協働・男女参画推進課	地域センター維持管理事業	292,345	275,263	17,082	維持	2
4	市民協働・男女参画推進課	小平元気村おがわ東維持管理事業	37,384	32,837	4,546	維持	2
5	市民協働・男女参画推進課	NPO・ボランティア活動促進事業	4,955	1,209	3,746	縮小	1
6	市民協働・男女参画推進課	市民活動支援センター事業	17,556	14,559	2,997	拡大	1
7	市民協働・男女参画推進課	地域自治推進事業	923	174	749	維持	1
8	市民協働・男女参画推進課	大学連携推進事業	264	189	75	拡大	1
9	秘書広報課	表彰事業	3,114	1,091	2,023	維持	1
10	生活支援課	社会を明るくする運動事業	1,414	66	1,349	維持	1
11	文化スポーツ課	* 国際交流事業				維持	1
12	文化スポーツ課	* 学校施設スポーツ開放事業				維持	1
13	文化スポーツ課	* 地域のスポーツ振興に伴う器具貸出事業				維持	1
14	文化スポーツ課	* 2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業[ノルディック・ウォーキング体験事業]				廃止	1
15	防災危機管理課	* 防災関係団体の育成事業				維持	2
16	防災危機管理課	* 消防団関係運営事業				維持	1
17	地域安全課	* 防犯対策事業				維持	1
18	障がい者支援課	* ペアレントプログラム実施事業				維持	1
19	環境政策課	* 環境保全推進事業[災害時にも役立つ、自然エネルギーを活用したエコなライフスタイルの実践啓発事業]				廃止	1
20	公民館	* 公民館共通管理事業				維持	2
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			397,692	357,633	40,058		

1 地域社会における新たな関係をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	022502	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	自治会助成事業			
担当課	市民協働・男女参画推進課	事業開始年度	昭和49年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施		
【目的】	市との円滑な協力関係を推進し、自主的な活動を支援する。									
【対象】	自治会						対象数	372自治会		
【29年度の事業内容】	335自治会に事務交付金、4,196灯分の電気料補助、防犯灯設置数は新規346基・建替1基。維持管理費補助は1,685灯分及び掲示板設置数2基分に対して補助金を交付し、事務交付金については3,209,100円を交付した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	31,891	25,229	28,186	① 事務交付金 交付	目標値	370	370	372	おおむね達成	
経費	事業費	28,259	21,538		24,440	実績値	348	332		335
	人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 件	達成率	94.1%	89.7%	90.1%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 20	* 21	* 21	効率性
	その他	0	0	0		増減率	—	5.2%	-0.6%	変わらず
一般財源	31,891	25,229	28,186	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	022503	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	市民まつり事業			
担当課	市民協働・男女参画推進課	事業開始年度	昭和51年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施		
【目的】	市民（各種団体等）がそれぞれの立場で参加できるように、実行委員会の活動を支援する。									
【対象】	市民						対象数	191,064人		
【29年度の事業内容】	市民まつり実行委員会が市からの補助金及び協賛金の範囲内で企画運営し、10月15日（日）午前9時30分～午後3時00分（雨天のため1時間30分繰り上げて終了）まで、あかしあ通りにて実施し、来場者は約5万人であった。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	12,309	11,255	11,551	① 実行委員会 参加人数	目標値	6,000	6,000	6,000	未達成	
経費	事業費	8,676	7,563		7,805	実績値	5,830	5,950		2,453
	人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 人	達成率	97.2%	99.2%	40.9%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	2	2	5	効率性
	その他	0	0	0		増減率	—	-10.4%	149.0%	下がった
一般財源	12,309	11,255	11,551	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	022504	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	地域センター維持管理事業			
担当課	市民協働・男女参画推進課	事業開始年度	昭和58年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市条例 [主体の多様性] 市のみ実施		
【目的】	地域センターの安全性・快適性を確保し、市民相互の交流及び市民福祉の向上を図るための場を提供する。									
【対象】	地域センター						対象数	19館		
【29年度の事業内容】	定期的メンテナンス、修繕及び備品の購入などの維持管理を行い、698,451人の利用があった。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	255,603	275,455	292,345	① 開館日数	目標値	335	335	335	達成	
経費	事業費	239,039	258,622		275,263	実績値	335	335		335
	人件費	16,564	16,833	17,082	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	3,000	18,200	1,400	② 単位あたり コスト	千円	763	822	873	効率性
	その他	2,053	2,207	40,298		増減率	—	7.8%	6.1%	下がった
一般財源	250,550	255,049	250,647	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	2.28	0.00	2.28	0.00	2.28	0.00				

事務事業評価票

4	事務事業コード	022505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	小平元気村おがわ東維持管理事業						
	担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成15年度		【実施の形態】	直営	【実施の根拠】	市条例		【主体の多様性】	市のみ実施	
	【目的】	小平元気村おがわ東の安全性・快適性を確保し、市民の福祉・自主的な活動・交流を促進する。												
	【対象】	小平元気村おがわ東										対象数	1館	
	【29年度の事業内容】	定期的メンテナンス、修繕及び備品の購入などの維持管理を行い、83,540人の利用があった。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	36,352	34,912	37,384	① 開館日数	目標値	354	353	353	おおむね達成				
	経費	事業費	31,896	30,394		32,837	実績値	353	352					350
		人件費	4,456	4,518	4,546	(単位) 日	達成率	99.7%	99.7%	99.2%	効率性 下がった			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	103	99	107				
	その他	1,013	888	916	増減率		—	-3.7%	7.7%					
	一般財源	35,339	34,024	36,468	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.12	1.00	0.12	1.00	0.12	1.00								

5	事務事業コード	022511	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	NPO・ボランティア活動促進事業						
	担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成12年度		【実施の形態】	直営	【実施の根拠】	市要綱等		【主体の多様性】	民間でも実施	
	【目的】	ボランティア活動や市民活動を支援し、地域の活性化を図るとともに、協働の推進を図る。												
	【対象】	市民活動団体及び市民										対象数	191,064人	
	【29年度の事業内容】	市民活動支援公募事業は、14件の応募があり選考審査の結果12件を採択し事業を実施した。いきいき協働事業は、4件の応募があり選考審査の結果2件が採択された。また、職員向けの研修会と市民向けの協働の講演会を開催するとともに、協働事業フォローアップ交流会を行い、事業の振り返りを行った。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	4,721	4,873	4,955	① 市民活動支援 公募事業の 応募件数	目標値	10	10	10	達成				
	経費	事業費	1,088	1,182		1,209	実績値	13	10					14
		人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 件	達成率	130.0%	100.0%	140.0%	効率性 上がった			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 226	* 304	* 224				
	その他	0	0	0	増減率		—	34.4%	-26.2%					
	一般財源	4,720	4,873	4,955	30年度の 予算・事業	縮小		「小平市協働の推進に関する指針」の見直しにともなう市民活動支援公募事業を休止する						
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00								

6	事務事業コード	022512	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	市民活動支援センター事業						
	担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成22年度		【実施の形態】	その他	【実施の根拠】	市条例		【主体の多様性】	国・都でも実施	
	【目的】	市民活動の拠点として、市民の自主的な社会貢献活動を支援する。												
	【対象】	市民活動団体及び市民										対象数	191,064人	
	【29年度の事業内容】	指定管理者であるNPO法人小平市民活動ネットワークにおいて、会議室等の貸出し、各種学習会の開催、市民活動情報紙「あすびあ通信」及び市民活動団体データ集「むすぶ」の発行、NPOフェスタin元気村2017の開催、「なんでも相談室」等の業務を行った。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	17,086	17,130	17,556	① 来場者・学 習会等参加 者	目標値	8,300	8,800	10,000	おおむね達成				
	経費	事業費	14,180	14,177		14,559	実績値	10,883	10,017					9,894
		人件費	2,906	2,953	2,997	(単位) 人	達成率	131.1%	113.8%	98.9%	効率性 変わらず			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	2	2	2				
	その他	0	0	0	増減率		—	8.9%	3.8%					
	一般財源	17,086	17,130	17,556	30年度の 予算・事業	拡大		市民活動の裾野の拡大にともなう各種事業実施による増						
職員・再任用(人)	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00								

1 地域社会における新たな関係をめざす

事 務 事 業 評 価 票

7	事務事業コード	022525	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	地域自治推進事業						
	担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成25年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	その他		〔主体の多様性〕	市のみ実施	
	【目的】	地域が地域を担う仕組みである地域自治の推進												
	【対象】	学園西町地区他										対象数		2地区
	【29年度の事業内容】	自治会、商店会、民生委員、青少年対策地区委員会、PTA、高齢クラブなどの地域活動を行っている団体や、学校、地域包括支援センター、社会福祉協議会などの関連機関が連携した学園西町地区の地域連絡会を4回開催した。その中で防災部会では避難所運営に向けた取組、居場所部会ではこげら1周年イベント等を行った。さらに、小平市の西側地区では、地域で活動している方や大学と連携し、地域防災やお祭り等で地域の連携を進めたほか、地域の輪を広げるための地域交流会を2回開催した。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	860	940	923	① 地域連絡会等	目標値	5	5	5	達成				
	経費	事業費	133	202		174	実績値	4	4		6			
		人件費	727	738	749	(単位) 回	達成率	80.0%	80.0%	120.0%				
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	215	235	154	効率性 上がった			
その他		0	0	0	増減率		—	9.3%	-34.5%					
一般財源	860	940	923	30年度の 予算・事業		維持								
職員・再任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00								

8	事務事業コード	022526	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	大学連携推進事業						
	担当課	市民協働・男女参画推進課		事業開始年度	平成25年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	その他		〔主体の多様性〕	市のみ実施	
	【目的】	市内の大学における相互の資源を活用した連携を促進し、地域社会の発展及び人材の育成を図る。												
	【対象】	小平市内の大学等										対象数		7校
	【29年度の事業内容】	連絡調整会議を3回実施し、大学間の情報共有を行ったほか、小平市大学連携推進協議会に新たに職業能力開発総合大学校が加入した。また、学生と地域との交流イベント「まちで楽しむ」を開催。地域PR部会では、地元企業のウィンドウディスプレイを市内の大学が小平市の観光テーマである「プチ田舎」をコンセプトとして展示を行った。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	221	157	264	① 連絡調整会議	目標値	3	3	3	達成				
	経費	事業費	148	84		189	実績値	3	3		3			
		人件費	73	74	75	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	74	52	88	効率性 下がった			
その他		0	0	0	増減率		—	-28.7%	67.6%					
一般財源	221	157	264	30年度の 予算・事業		拡大		大学連携協議会主催事業の実施、学生団体の支援にともなう増						
職員・再任用(人)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00								

9	事務事業コード	020302	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	表彰事業						
	担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和40年度		〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市要綱等		〔主体の多様性〕	国・都でも実施	
	【目的】	表彰または感謝の意を表する。												
	【対象】	市の自治振興に対し又は地域の振興に対し特に功労のあった者										対象数		191,064人
	【29年度の事業内容】	表彰状贈呈件数 100件 感謝状贈呈件数 76件 (10月1日(日)、平成29年度表彰式にて贈呈)												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	2,917	3,121	3,114	① 表彰・感謝状贈呈件数	目標値				—				
	経費	事業費	956	1,127		1,091	実績値	154	173		176			
		人件費	1,962	1,993	2,023	(単位) 件	達成率	—	—	—				
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	19	18*	18	効率性 変わらず			
その他		0	0	0	増減率		—	-4.8%	-1.9%					
一般財源	2,917	3,121	3,114	30年度の 予算・事業		維持								
職員・再任用(人)	0.27	0.00	0.27	0.00	0.27	0.00								

事務事業評価票

10	事務事業コード	030908	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	社会を明るくする運動事業	*メイン(サブ施策はNo.2)				
	担当課	生活支援課		事業開始年度	平成4年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし) [主体の多様性] 国・都でも実施			
	【目的】	実施委員会の運動に対して支援することにより、犯罪や非行のない明るい社会を築く。											
	【対象】	社会を明るくする運動小平市実施委員							対象数 20団体				
	【29年度の事業内容】	駅頭広報宣伝活動(7月3日(月))を実施し、運動の趣旨の呼びかけや啓発物資の配布などを行った。また、作文集「ひまわり」の作成、配付を行った。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	1,427	1,524	1,414	① 実施委員会構成機関・団体	目標値				-			
	経費	事業費	120	195		66	実績値	20	20				20
		人件費	1,308	1,329	1,349	(単位) 団体	達成率	-	-	-	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	71	76	71			
その他		0	0	0	増減率		-	6.7%	-7.2%				
一般財源	1,427	1,524	1,414	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00							

11	事務事業コード	024505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	国際交流事業	*サブ(メイン施策はNo.4)				
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成2年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等 [主体の多様性] 民間でも実施			
	【目的】	地域における外国人と市民の交流機会を増やす。											
	【対象】	市民							対象数 191,064人				
	【29年度の事業内容】	小平市国際交流協会へ管理運営費の一部及び事業費の一部を補助した。小平市国際交流協会登録のボランティアは229人											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	14,848	15,110	15,252	① 事業数	目標値	25	26	26	達成			
	経費	事業費	13,613	13,855		13,978	実績値	25	26				26
		人件費	1,235	1,255	1,274	(単位) 事業	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	594	581	587			
その他		3,000	3,000	3,000	増減率		-	-2.1%	0.9%				
一般財源	11,848	12,110	12,252	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00							

12	事務事業コード	101104	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	学校施設スポーツ開放事業	*サブ(メイン施策はNo.11-3)				
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和50年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市条例 [主体の多様性] 市のみ実施			
	【目的】	小学校の校庭および中学校の体育館を地域に開放し、地域のスポーツ活動を推進する。											
	【対象】	開放団体							対象数 190団体				
	【29年度の事業内容】	小学校全19校の体育館・校庭と第一中学校の体育館を平日の夜間と土日に市民スポーツ団体(190団体)に開放し、地域のスポーツ活動の推進を図った。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	9,574	9,266	9,528	① 登録団体数	目標値	200	200	200	おおむね達成			
	経費	事業費	8,121	7,790		8,030	実績値	174	183				190
		人件費	1,453	1,477	1,498	(単位) 団体	達成率	87.0%	91.5%	95.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	55	51	50			
その他		0	0	0	増減率		-	-8.0%	-1.0%				
一般財源	9,574	9,266	9,528	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00							

1 地域社会における新たな関係をめざす

事務事業評価票

13	事務事業コード	101106	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	地域のスポーツ振興に伴う器具貸出事業 *サブ(メイン施策はNo.11-3)					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和57年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施				
	【目的】	地域活動(スポーツ大会等)に必要な備品を貸出し、スポーツ・レクリエーションを通じた地域活動の振興に供する。											
	【対象】	市民						対象数 191,064人					
	【29年度の事業内容】	市民サークル等の地域活動(スポーツ大会等)に対し、行事用テント、運動会用品、放送器具等の備品類を貸出した。平成29年度の貸出器具点数は12,406点であった。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	2,227	1,937	2,138	① 貸出件数	目標値	180	180	180	おおむね達成			
	経費	事業費	411	91		265	実績値	181	165		178		
		人件費	1,816	1,846	1,873	(単位) 件	達成率	100.6%	91.7%	98.9%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	12	12	12	効率性		
その他		0	0	0	増減率		—	-4.6%	2.3%	変わらず			
一般財源	2,227	1,937	2,138	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00							

14	事務事業コード	101128-2	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業(ノルディック・ウォーキング体験事業) *サブ(メイン施策はNo.11-3)					
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	平成29年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施				
	【目的】	東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図り、スポーツ及び文化の振興につなげる。											
	【対象】	市民						対象数 191,064人					
	【29年度の事業内容】	ノルディック・ウォーキングの普及啓発を目的に「ノルディック・ウォークフェスタ」を開催した。(来場者数200人) 継続的なスポーツの実施につなげるために、「ノルディック・ウォーキング教室」を開催した。(参加者数42人)											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)			597	① イベント参加者数	目標値			242	達成			
	経費	事業費		372		実績値			242				
		人件費		225	(単位) 人	達成率			100.0%				
	財源	国都支出金		186	② 単位あたり コスト	千円			2	効率性			
その他			0	増減率				—	—				
一般財源			411	30年度の 予算・事業		廃止		29年度いきいき協働事業として実施					
職員・再任用(人)			0.03	0.00									

15	事務事業コード	022706	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災関係団体の育成事業 *サブ(メイン施策はNo.2)					
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施				
	【目的】	自主防災組織等における防災に係る知識や技術の習得と、救助資器材・食糧等の備蓄の促進											
	【対象】	自主防災組織(地域住民が自主的な防災活動を行う組織)等						対象数 66組織					
	【29年度の事業内容】	自主防災組織が新規に3組織結成され、また、資器材の整備費用等に対する補助金を58件交付した。組織間の連携を目的とした防災組織地域交流を2月24日(土)に実施した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	7,839	9,944	8,315	① 自主防災組織交流会実施回数	目標値	1	1	1	達成			
	経費	事業費	3,044	5,071		3,370	実績値	1	1		1		
		人件費	4,795	4,873	4,945	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 145	* 148	* 150	効率性		
その他		0	1,700	0	増減率		—	1.6%	1.5%	変わらず			
一般財源	7,839	8,244	8,315	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.66	0.00	0.66	0.00	0.66	0.00							

事務事業評価票

16	事務事業コード	090102	会計	一般	予算科目	9-1-2	事業名	消防団関係運営事業	*サブ(メイン施策はNo.2)				
	担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和22年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし)	[主体の多様性]	市のみ実施		
	【目的】	火災等災害発生時に即応できる技術と体制を維持する。											
	【対象】	小平市消防団員(全9分団)							対象数 9分団				
	【29年度の事業内容】	自治会・自主防災組織の要請による防災訓練での指導及び地域祭り等行事に参加し、警戒警備を行った。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	101,879	78,029	101,709	① 活動日数	目標値	366	365	365	達成			
	経費	事業費	93,161	69,170		92,718	実績値	366	365				365
		人件費	8,718	8,860	8,990	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	1,178	375	4,250	② 単位あたり コスト	千円	* 161	* 171	* 186			
その他		20,211	1,010	16,348	増減率		—	6.1%	8.7%				
	一般財源	80,490	76,644	81,111	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00							

17	事務事業コード	024102	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防犯対策事業	*サブ(メイン施策はNo.2)				
	担当課	地域安全課	事業開始年度	平成16年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	都条例(義務なし)	[主体の多様性]	国・都でも実施		
	【目的】	地域における自主的な防犯活動への支援を行う。											
	【対象】	自主防犯組織(地域住民が自主的な防犯活動を行う組織)							対象数 22組織				
	【29年度の事業内容】	自主防犯組織への支援として、腕章の貸出しや地域防犯講座を3月16日(金)に実施した。また、必要に応じて自主防犯組織の防犯パトロールに同行し、情報の共有を図った。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	4,536	4,844	4,601	① 防犯講座 実施回数	目標値	1	1	1	達成			
	経費	事業費	2,138	2,408		2,128	実績値	1	1				1
		人件費	2,397	2,436	2,472	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 724	* 850	* 730			
その他		0	0	0	増減率		—	17.5%	-14.1%				
	一般財源	4,536	4,844	4,601	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00							

18	事務事業コード	031370	会計	一般	予算科目	3-1-5	事業名	ペアレントプログラム実施事業	*サブ(メイン施策はNo.9-7)			
	担当課	障がい者支援課	事業開始年度	平成29年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	民間でも実施	
	【目的】	子どもの発達が気になる保護者の悩みを解消する。										
	【対象】	発達障がいの子どものもつ保護者							対象数			
	【29年度の事業内容】	委託により、ペアレントプログラム講座(全6回)を実施した。保護者参加者数25人 保育園、幼稚園等支援機関参加者数31人 また、発達障がい啓発講演会を開催した。参加者数112人										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)			2,472	① 保護者 参加者数	目標値			24	達成		
	経費	事業費		974		実績値			25			
		人件費		1,498	(単位) 人	達成率			104.2%	効率性 —		
	財源	国都支出金		0	② 単位あたり コスト	千円			99			
その他			0	増減率				—				
	一般財源		2,472	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)			0.20	0.00								

1 地域社会における新たな関係をめざす

事務事業評価票

19	事務事業コード	040910-2	会計	一般	予算科目	4-1-6	事業名	環境保全推進事業【災害時にも役立つ、自然エネルギーを活用したエコなライフスタイルの実践啓発事業】 *サブ(メイン施策はNo.7)		
	担当課	環境政策課		事業開始年度	平成29年度		【実施の形態】	委託 【実施の根拠】 法(義務なし)【主体の多様性】 民間でも実施		
	【目的】	災害への備えとしての省エネ・創エネの重要性について、市民の意識啓発を図る。								
	【対象】	市民						対象数	191,064人	
	【29年度の事業内容】	「熊本地震に学ぶ、自然エネルギーの活用」講演会、太陽光ペランダ発電工作セミナー、「災害と再エネ まちウォッチング」見学会、災害時に役立つ再エネ機器の展示やDVD上映等からなる「ギャラリー展示」を開催した。(来場者数357人) 省エネ・創エネのヒントや暮らし方のアイデアをまとめた環境カレンダーを作成し、各種イベントや市内転入者へ配布した。(3,000部)								
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価
	総コスト(千円)			2,882	① 各イベント参加者	目標値			357	達成
	経費	事業費		635		実績値			357	
		人件費		2,248	(単位) 人	達成率			100.0%	
	財源	国都支出金		0	② 単位あたりコスト	千円			8	効率性
その他			635	増減率				-	-	
一般財源			2,248	30年度の 予算・事業		廃止	29年度いきいき協働事業として実施			
職員・再任用(人)			0.30	0.00						

20	事務事業コード	101301	会計	一般	予算科目	10-4-5	事業名	公民館共通管理事業 *サブ(メイン施策はNo.11-1)		
	担当課	公民館		事業開始年度	昭和24年度		【実施の形態】	直営 【実施の根拠】 法(義務なし)【主体の多様性】 国・都でも実施		
	【目的】	学習環境の整備・充実を図り、学習活動や地域活動の活性化につながる機会を提供する。								
	【対象】	市民団体及び市外団体等						対象数		
	【29年度の事業内容】	公民館全11館(中央館1館、分館10館)の定例業務として、機器等の保守・点検、施設等の維持管理、施設修繕または改良・改修工事等の実施により、安全・安心及び快適に利用できるよう施設環境を整備したほか、部屋の貸出を行った。平成29年度の利用団体数は3,634団体、利用者数は499,807人であった。								
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価
	総コスト(千円)	269,611	223,933	207,789	① 開館日数	目標値	314	309	308	達成
	経費	事業費	240,551	194,401		177,821	実績値	314	309	
		人件費	29,060	29,532	29,968	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%
	財源	国都支出金	20,438	19,029	5,070	② 単位あたりコスト	千円	859	725	675
その他		5,721	3,704	10,525	増減率		-	-15.6%	-6.9%	上がった
一般財源		243,452	201,200	192,194	30年度の 予算・事業		維持			
職員・再任用(人)	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00				

施策の概要(PLAN)			主管課	防災危機管理課			
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	地域安全課、生活支援課、高齢者支援課、障がい者支援課、都市計画課		
No. 施策名	2 安全で安心できるまちをめざす						
施策の分野	1 防犯	2 防災	3	4	5		
施策の展開	各関係機関・市民・行政が連携しそれぞれの役割を十分に果たすことにより、安全で安心できるまちの実現をめざします。 <長期総合計画P14> 地域の市民・事業者を守るため、また少しでも災害を減らすために行政をはじめ市民・各関係機関が相互に協力しあい、市民から信頼されるまちをめざします。						

施策の成果指標と実績(DO)			単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
成果指標	① 自主防災組織の組織数	目標	組織	—	65	67	69	71
		実績	組織	63	66			
		進捗率	%	—	93.0%			
	② 総合防災訓練参加人数	目標	人	—	1,400	1,400	1,400	1,400
		実績	人	1,475	1,528			
		達成率	%	—	109.1%			
	③ 災害時応援協定の見直し又は新規締結件数	目標	件	—	3	3	3	3
		実績	件	4	5			
		進捗率	%	—	166.7%			
	④ 被害想定に対応した備蓄品の充足率	目標	%	—	40	50	60	70
		実績	%	30	47			
		達成率	%	—	117.5%			

施策内事業の集計		単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
総コスト計		千円	2,286,476	2,249,237			
事業費		千円	2,233,909	2,203,386			
人件費		千円	52,567	45,851			

施策の成果についての総括(CHECK)			
成果	目標達成度合い	順調に成果が上がっている	理由 自主防災組織の組織数が増え、地域で助け合う共助の意識の向上が見込まれることから順調に成果が上がっていると評価しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内金融機関、防犯協会、警察と連携し、振り込み詐欺被害防止キャンペーンを実施しました。 ◆自主防災組織が順調に増えており、地域で助け合う共助の意識の向上について一定の成果が見られました。 ◆小平市総合防災訓練を10月29日(日)に小平市立小平第十四小学校で実施し、市民及び地域の防災行動力の向上と防災意識の高揚について一定の成果が見られました。 ◆災害時応援協定の見直しを行い、関係機関、民間事業者等との多様な連携体制の強化について一定の成果が見られました。 ◆被害想定に対応した備蓄を行ったことにより、防災体制の強化・充実について一定の成果が見られました。 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆複雑、組織化に加え凶悪化、巧妙化するトラブルや犯罪に市民が巻き込まれないために、より効果のある防犯啓発事業等を行う必要があると考えられます。 ◆「小平市空き家等の適正な管理に関する条例」及び「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、所有者や管理者に対し、空き家等の適正な管理を促していく必要があります。 ◆市民・事業者・行政がそれぞれの立場で必要な役割を果たし、相互に協力して非常事態を克服する諸体制を整備するため、市民の自助能力及び共助能力を高めることが重要とされており、また、市として地震に対する備えを進めるとともに、消防署、消防団など関係機関や民間事業者などとの多様な連携体制の強化が引き続き求められています。 ◆東日本大震災や平成28年4月の熊本地震等の経験を踏まえ、市としての危機対応力を更に向上していく必要があります。 		

施策の方向性(ACTION)					
事務事業の動向	拡大 1 本	維持 13 本	改善 0 本	縮小 1 本	廃止 0 本
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民の日ごろの防犯意識の向上のため、防犯パトロールや防犯キャンペーン等の防犯啓発事業等を引き続き実施していきます。 ◆警察や関係団体との情報交換及び先進市の事例等の情報収集を行い、効果のある防犯啓発事業を実施していきます。 ◆空き家等条例及び空家等特措法に基づき、所有者や管理者の方に対し、空き家等の適正な管理を促していきます。 ◆自主防災組織が未結成である自治会等に対する啓発を実施し、組織数の増加を引き続き図ります。また、既存組織についても、組織の活性化や組織間の連携を図れるような事業を引き続き実施していきます。 ◆市や防災関係機関で保有する資機材だけでは、災害時に救護・救援活動をするための必要量を確保することは困難であることから、資機材等を計画的に増やしたり、災害時応援協定等により、それらを調達する手段を確保していきます。 ◆小平市地域防災計画に基づき、より実効性の高い災害対策事業を実施していきます。 				

平成29年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	30年度の 動向	施策の 分野
1	防災危機管理課	防災体制の充実事業	16,057	4,819	11,238	維持	2
2	防災危機管理課	防災施設の維持管理事業	25,283	21,537	3,746	維持	2
3	防災危機管理課	防災関係団体の育成事業	8,315	3,370	4,945	維持	2
4	防災危機管理課	防災施設及び備蓄品の整備事業	66,931	64,459	2,472	維持	2
5	防災危機管理課	常備消防に係る委託事業	1,968,711	1,968,336	375	維持	2
6	防災危機管理課	消防団関係運営事業	101,709	92,718	8,990	維持	2
7	防災危機管理課	消防施設の維持管理事業	48,136	42,892	5,244	維持	2
8	防災危機管理課	水防用資材事業	464	90	375	維持	2
9	都市計画課	耐震化促進事業	5,285	3,037	2,248	拡大	2
10	都市計画課	耐震化促進事業 【特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業】	3,746	0	3,746	縮小	2
11	地域安全課	防犯対策事業	4,601	2,128	2,472	維持	1
12	生活支援課	* 社会を明るくする運動事業				維持	1
13	生活支援課	* 避難行動要支援者避難支援体制の整備事業				維持	2
14	高齢者支援課	* 高齢者緊急通報システム事業				維持	2
15	障がい者支援課	* 身体障がい者在宅支援事業				維持	2
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			2,249,237	2,203,386	45,851		

2 安全で安心できるまちをめざす

事務事業評価票

事務事業コード	022702	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災体制の充実事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和47年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
【目的】	市、防災関係機関及び市民が連携して取り組む有機的な体制を充実させる。									
【対象】	防災関係機関(自衛隊・警察・消防・ライフライン関係企業等)						対象数			
【29年度の事業内容】	小平市総合防災訓練参加機関の調整会議である全機関会議を7月6日(木)に、訓練の内容について審議する防災会議を8月22日(火)に行い、小平市総合防災訓練を10月29日(日)に実施した。また、市職員を対象として、市民等を交えた緊急初動要員訓練を7月25日(火)に実施した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	16,411	16,765	16,057	① 総合防災訓練参加者数	目標値	1,300	1,300	1,300	達成	
経費	事業費	5,514	5,691		4,819	実績値	1,407	1,475		1,528
	人件費	10,898	11,075	11,238	(単位) 人	達成率	108.2%	113.5%	117.5%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	* 1	* 1	* 2	効率性 下がった
	その他	120	121	121		増減率	—	-11.4%	25.0%	
一般財源	16,291	16,644	15,935	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	1.50	0.00	1.50	0.00	1.50	0.00				

事務事業コード	022705	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災施設の維持管理事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和37年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施			
【目的】	災害時に活用できるよう機能の保守及び整備をする。									
【対象】	防災行政無線、計測震度計及び震災対策用井戸等各種防災施設						対象数			
【29年度の事業内容】	定例業務として防災行政無線の保守点検・定期通信訓練及び震災対策用井戸水質検査等を行った。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	138,978	34,076	25,283	① 保守点検実施機器数	目標値	204	235	226	達成	
経費	事業費	135,345	30,384		21,537	実績値	204	235		226
	人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 機	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	1,800	1,100	1,000	② 単位あたりコスト	千円	* 48	* 52	* 54	効率性 変わらず
	その他	109,500	0	0		増減率	—	9.5%	2.8%	
一般財源	27,678	32,976	24,283	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	022706	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防災関係団体の育成事業 *メイン(サブ施策はNo.1)			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施			
【目的】	自主防災組織等における防災に係る知識や技術の習得と、救助資器材・食糧等の備蓄の促進									
【対象】	自主防災組織(地域住民が自主的な防災活動を行う組織)等						対象数 66組織			
【29年度の事業内容】	自主防災組織が新規に3組織結成され、また、資器材の整備費用等に対する補助金を58件交付した。組織間の連携を目的とした防災組織地域交流を2月24日(土)に実施した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	7,839	9,944	8,315	① 補助金交付件数	目標値	55	57	60	おおむね達成	
経費	事業費	3,044	5,071		3,370	実績値	57	60		58
	人件費	4,795	4,873	4,945	(単位) 件	達成率	103.6%	105.3%	96.7%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	* 130	* 128	* 129	効率性 変わらず
	その他	0	1,700	0		増減率	—	-1.9%	1.1%	
一般財源	7,839	8,244	8,315	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.66	0.00	0.66	0.00	0.66	0.00				

事務事業評価票

4	事務事業コード	022707	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名 防災施設及び備蓄品の整備事業						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和37年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 国・都でも実施		
	【目的】	災害時における必要量を確保する。											
	【対象】	被害想定における避難者・帰宅困難者数								対象数			96,435人
	【29年度の事業内容】	消費期限が到来する備蓄食糧等の入換えや、防災備蓄用品の充実等を行った。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	71,462	73,391	66,931	① 食糧総備蓄量	目標値	121,800	148,430	168,780	達成			
	経費	事業費	69,065	70,955		64,459	実績値	121,800	148,430			168,780	
		人件費	2,397	2,436	2,472	(単位) 食	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	34,500	35,213	27,500	② 単位あたりコスト	千円	* 0.1	* 0.1	* 0.1			
	その他	0	0	0	増減率		—	-24.2%	-7.0%				
	一般財源	36,962	38,179	39,431	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00							

5	事務事業コード	090101	会計	一般	予算科目	9-1-1	事業名 常備消防に係る委託事業						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和35年度		[実施の形態]	委託		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施		
	【目的】	災害発生時に短時間で消防活動を受けられるようにする。											
	【対象】	市内における人的・物的被害が予測されるすべてのもの								対象数			191,064人
	【29年度の事業内容】	救助活動及びP A連携等を含む災害出場2,302件、救急出場10,274件について対応した。 ※P A連携…救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うこと。救急隊より消防隊が先着できる場合や救急隊のみで活動困難な場合に行われる。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	1,976,473	1,988,800	1,968,711	① 活動日数	目標値	366	365	365	達成			
	経費	事業費	1,976,110	1,988,431		1,968,336	実績値	366	365			365	
		人件費	363	369	375	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	515,382	579,610	61,236	② 単位あたりコスト	千円	5,400	5,449	5,394			
	その他	0	0	0	増減率		—	0.9%	-1.0%				
	一般財源	1,461,091	1,409,190	1,907,475	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00							

6	事務事業コード	090102	会計	一般	予算科目	9-1-2	事業名 消防団関係運営事業 *メイン(サブ施策はNo.1)						
	担当課	防災危機管理課		事業開始年度	昭和22年度		[実施の形態]	直営		[実施の根拠]	法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施		
	【目的】	火災等災害発生時に即応できる技術と体制を維持する。											
	【対象】	小平市消防団員(全9分団)								対象数			9分団
	【29年度の事業内容】	火災発生時に出勤し、消火活動を行った。また、消防技術向上のための訓練や火災予防の広報に従事した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	101,879	78,029	101,709	① 活動日数	目標値	366	365	365	達成			
	経費	事業費	93,161	69,170		92,718	実績値	366	365			365	
		人件費	8,718	8,860	8,990	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	1,178	375	4,250	② 単位あたりコスト	千円	* 161	* 171	* 186			
	その他	20,211	1,010	16,348	増減率		—	6.1%	8.7%				
	一般財源	80,490	76,644	81,111	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.20	0.00							

2 安全で安心できるまちをめざす

事 務 事 業 評 価 票

事務事業コード	090103	会計	一般	予算科目	9-1-3	事業名	消防施設の維持管理事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和22年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施			
【目的】	消火栓を設置し、常時使用可能な状態にしておく。									
【対象】	公設消火栓（常備消防事務の委託外の消防水利）						対象数	1,532基		
【29年度の事業内容】	上水道配管工事と一体で市内全域に市負担で消火栓の移設39基について施工した。また、水利点検にて不良と判断した箇所（修繕、道路工事に伴う高さ調整等）14基の維持管理修繕を実施した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	29,369	51,444	48,136	① 公設消火栓数	目標値	1,530	1,532	1,533	おおむね達成	
経費	事業費	24,283	46,276		実績値	1,530	1,532	1,532		
	人件費	5,086	5,168	5,244	(単位) 基	達成率	100.0%	100.0%	99.9%	
財源	国都支出金	8,400	12,000	12,000	② 単位あたりコスト	千円	* 16	* 20	* 26	効率性
	その他	1,290	15,285	68		増減率	—	23.5%	31.2%	下がった
	一般財源	19,678	24,159	36,069	30年度の 予算・事業	維持				
職員・再任用(人)	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00				

事務事業コード	090104	会計	一般	予算科目	9-1-4	事業名	水防用資材事業			
担当課	防災危機管理課	事業開始年度	昭和37年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠] 法(義務あり) [主体の多様性] 市のみ実施			
【目的】	水害を防止するために必要な技術を習得する。									
【対象】	水害が想定される区域において発災時に従事する者						対象数	178人		
【29年度の事業内容】	市職員、消防署員及び消防団員を対象に水防技術の向上を目的に小平市総合水防演習を5月13日（土）午前9時30分から午前11時30分まで実施した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	412	419	464	① 水防演習実施回数	目標値	1	1	1	達成	
経費	事業費	49	50		90	実績値	1	1		1
	人件費	363	369	375	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト	千円	412	419	464	効率性
	その他	0	0	0		増減率	—	1.8%	10.7%	下がった
	一般財源	412	419	464	30年度の 予算・事業	維持				
職員・再任用(人)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00				

事務事業コード	081724-1	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業 *メイン(サブ施策はNo.3)			
担当課	都市計画課	事業開始年度	平成17年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠] 市要綱等 [主体の多様性] 市のみ実施			
【目的】	耐震診断及び改修に要する費用の一部を補助することで、市内木造住宅等の耐震化促進を図る。									
【対象】	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された木造住宅等						対象数	11,000棟		
【29年度の事業内容】	旧耐震基準の木造住宅を対象とした耐震診断費用の補助（2分の1相当額。上限5万円。）を9件、耐震改修費用の補助（3分の1相当額。上限30万円。）を4件、ブロック塀等を対象とした改善費用の補助を7件実施した。また、市内一部地域において、個別訪問を行った。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	5,656	8,015	5,285	① 耐震診断費用補助件数	目標値	30	30	18	遅れている	
経費	事業費	3,912	5,800		3,037	実績値	12	19		9
	人件費	1,744	2,215	2,248	(単位) 件	達成率	40.0%	63.3%	50.0%	
財源	国都支出金	1,283	2,359	1,563	② 単位あたりコスト	千円	471	422	587	効率性
	その他	0	0	0		増減率	—	-10.5%	39.2%	下がった
	一般財源	4,373	5,656	3,722	30年度の 予算・事業	拡大	補助金の上限額を増額し、耐震化の促進を図る。			
職員・再任用(人)	0.24	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00				

事務事業評価票

10	事務事業コード	081724-2	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業〔特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業〕 *メイン(サブ施策はNo.3)			
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成24年度		〔実施の形態〕	補助 〔実施の根拠〕 都条例(義務あり)〔主体の多様性〕 国・都でも実施			
	【目的】	該当沿道建築物の耐震化を図ることにより、災害時の救助活動及び物資搬送ルートの確保を図る。									
	【対象】	特定緊急輸送道路沿道建築物							対象数	11棟	
	【29年度の事業内容】	未耐震の対象建築物の所有者に対して、東京都及び設計技術者と訪問し、耐震化の必要性について啓発を行った。									
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
	総コスト(千円)	26,061	6,369	3,746	① 対象建築物所有者への訪問棟数 (単位) 棟	目標値	1	1	1	達成	
	経費	事業費	22,428	2,677		0	実績値	1	3		3
		人件費	3,633	3,692	3,746	達成率	100.0%	300.0%	300.0%		
	財源	国都支出金	17,942	2,677	0	② 単位あたりコスト (単位) 千円	千円	26,061	2,123	1,249	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	-91.9%	-41.2%		
	一般財源	8,119	3,692	3,746	30年度の 予算・事業	縮小	対象建築物所有者への調査により、予算を精査したもの。				
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00					

11	事務事業コード	024102	会計	一般	予算科目	2-1-9	事業名	防犯対策事業 *メイン(サブ施策はNo.1)			
	担当課	地域安全課		事業開始年度	平成16年度		〔実施の形態〕	直営 〔実施の根拠〕 都条例(義務なし)〔主体の多様性〕 国・都でも実施			
	【目的】	防犯意識の普及啓発									
	【対象】	市民・市内事業者(市を含む)等							対象数	191,064人	
	【29年度の事業内容】	市職員や市内協力事業者による防犯パトロールを実施した。また、振り込み詐欺の根絶を目指して、振り込み詐欺被害防止キャンペーンを全7回実施し、1,800人が参加した。さらに、「こども110番のいえ」制度への協力を要請した(協力者数:1,750箇所)。									
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
	総コスト(千円)	4,536	4,844	4,601	① キャンペーン参加者数 (単位) 人	目標値	1,750	1,750	1,750	達成	
	経費	事業費	2,138	2,408		2,128	実績値	1,750	1,800		1,800
		人件費	2,397	2,436	2,472	達成率	100.0%	102.9%	102.9%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト (単位) 千円	千円	* 0.5	* 0.6	* 0.5	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	11.6%	-11.8%		
	一般財源	4,536	4,844	4,601	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00					

12	事務事業コード	030908	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	社会を明るくする運動事業 *サブ(メイン施策はNo.1)			
	担当課	生活支援課		事業開始年度	平成4年度		〔実施の形態〕	直営 〔実施の根拠〕 法(義務なし)〔主体の多様性〕 国・都でも実施			
	【目的】	実施委員会の運動に対して支援することにより、犯罪や非行のない明るい社会を築く。									
	【対象】	社会を明るくする運動小平市実施委員							対象数	20団体	
	【29年度の事業内容】	駅頭広報宣伝活動(7月3日(月))を実施し、運動の趣旨の呼びかけや啓発物資の配布などを行った。また、作文集「ひまわり」の作成、配付を行った。									
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
	総コスト(千円)	1,427	1,524	1,414	① 実施委員会構成機関・団体 (単位) 団体	目標値				—	
	経費	事業費	120	195		66	実績値	20	20		20
		人件費	1,308	1,329	1,349	達成率	—	—	—		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたりコスト (単位) 千円	千円	71	76	71	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	6.7%	-7.2%		
	一般財源	1,427	1,524	1,414	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.18	0.00	0.18	0.00	0.18	0.00					

2 安全で安心できるまちをめざす

事務事業評価票

13	事務事業コード	030910	会計	一般	予算科目	3-1-1	事業名	避難行動要支援者避難支援体制の整備事業 *サブ(メイン施策はNo.9-3)					
	担当課	生活支援課		事業開始年度	平成21年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他		[主体の多様性]	国・都でも実施
	【目的】	災害時等の避難行動要支援者の支援を円滑に行う。											
	【対象】	避難行動要支援者								対象数 約6,000人			
	【29年度の事業内容】	避難行動要支援者登録名簿の更新、救急医療情報キットの配付、市保管用の情報カードの回収、関係機関への名簿の提供を行った。また、自治会等への事業広報に努め、協定締結自治会・マンション管理組合への名簿の提供を行った。平成29年度避難行動要支援者登録名簿登載者数2,913人											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	9,361	7,730	6,521	① 情報カードの回収人数	目標値	2,896	2,900	2,913	おおむね達成			
	経費	事業費	643	1,086		528	実績値	2,339	2,507				2,486
	費	人件費	8,718	6,645	5,994	(単位) 人	達成率	80.8%	86.4%	85.3%	効率性 上がった		
	財源	国都支出金	240	410	200	② 単位あたりコスト	千円	4	3	3			
源	その他	0	0	0	増減率		—	-23.0%	-14.9%				
一般財源	9,121	7,320	6,321	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	1.20	0.00	0.90	0.00	0.80	0.00							

14	事務事業コード	031111	会計	一般	予算科目	3-2-2	事業名	高齢者緊急通報システム事業 *サブ(メイン施策はNo.9-5)					
	担当課	高齢者支援課		事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	市要綱等		[主体の多様性]	民間でも実施
	【目的】	突然の発病や事故の際に緊急通報できるようにする。											
	【対象】	病弱で常時注意を要する高齢者・高齢者のみ世帯								対象数 44,109人			
	【29年度の事業内容】	緊急時にボタンひとつで東京消防庁や協力員に通報するシステム(消防型)を実施。平成21年10月よりボタンを押すことで民間受信センターに救護等を求めることができるシステム(民間型)を開始した。平成27年度より警報器を設置し火災による緊急時に東京消防庁・協力員に通報されるシステム(火災安全システム)事業を統合した。平成29年度利用件数 消防型2件 民間型112件、火災安全システム2件											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	5,225	5,677	6,475	① 緊急通報システム利用人数	目標値	76	81	86	達成			
	経費	事業費	3,990	4,422		5,202	実績値	95	108				116
	費	人件費	1,235	1,255	1,274	(単位) 人	達成率	125.0%	133.3%	134.9%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	1,576	1,779	2,107	② 単位あたりコスト	千円	55	53	56			
源	その他	0	0	0	増減率		—	-4.4%	6.2%				
一般財源	3,649	3,898	4,368	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00							

15	事務事業コード	031352	会計	一般	予算科目	3-1-5	事業名	身体障がい者在宅支援事業 *サブ(メイン施策はNo.9-7)					
	担当課	障がい者支援課		事業開始年度	平成19年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	法(義務なし)		[主体の多様性]	市のみ実施
	【目的】	在宅での健康面、衛生面、災害や事故から生命や財産を守るための支援をする。											
	【対象】	重度身体障がい者								対象数 2,743人			
	【29年度の事業内容】	ひとり暮らしの在宅重度身体障がい者に、緊急通報システムのサービス提供を行った。平成29年度 民間型対象者3人、消防型対象者1人											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	2,842	2,938	2,791	① 緊急通報システム設置者	目標値	3	5	5	おおむね達成			
	経費	事業費	662	723		544	実績値	4	5				4
	費	人件費	2,180	2,215	2,248	(単位) 人	達成率	133.3%	100.0%	80.0%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	21	30	33	② 単位あたりコスト	千円	* 222	* 200	* 226			
源	その他	0	0	0	増減率		—	-10.1%	12.9%				
一般財源	2,821	2,908	2,758	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00							

施策の概要 (PLAN)				主管課	市民課
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	秘書広報課、都市計画課
No. 施策名	3 より充実した市民生活をめざす				
施策の分野	1 ぐらしの相談	2 情報提供の充実	3	4	5
施策の展開 ＜長期総合計画P14＞	<p>快適な市民生活を過ごすために、予防・相談・情報提供などの課題解決のために必要な施策を展開し、より充実した市民生活の実現をめざします。</p> <p>日々の生活を送る基本となる住まいについて、安心して住むことができるように情報を提供します。また、広く雇用に関する情報提供の場を充実させます。</p>				

施策の成果指標と実績 (DO)									
			単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
成果指標	①	市民相談件数	目標	件	—	1,900	1,900	1,900	1,900
			実績	件	1,900	1,646			
			達成率	%	—	86.6%			
	②	高齢者(60歳代以上)の消費生活相談件数	目標	件	—	450	450	450	450
			実績	件	412	396			
			達成率	%	—	88.0%			
	③	市報、HPでの就労・雇用に関する情報提供の件数	目標	件	—	30	30	30	30
			実績	件	30	32			
			達成率	%	—	106.7%			
	④	木造耐震診断経費補助件数	目標	件	—	18	18	18	18
			実績	件	19	9			
			達成率	%	—	50.0%			

施策内事業の集計		単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
総コスト計		千円	33,153	31,666			
事業費		千円	17,694	16,431			
人件費		千円	15,459	15,236			

施策の成果についての総括 (CHECK)				
成果	目標達成度合い	一部の成果が上 がっている	理由	成果指標の目標の一部のみの達成となったため、一部の成果が上 がっていると評価しました。
	<p>◆市民相談・広聴(市長への手紙・市政への提言)と消費生活相談の受付窓口を統合し、市民にわかりやすい相談受付体制を整えており、必要に応じて適切な相談先につないでいます。</p> <p>◆高齢者や高齢者を見守る立場の方を対象に出前講座を行いました。相談事例を元に高齢者が使いやすい消費者トラブルを紹介し、被害に遭わないために気をつけることや見守りのポイントについて説明しました。また、クイズやロールプレイを行って、わかりやすい講座になるよう工夫しました。また、新社会人向けの出前講座も行いました。</p> <p>◆雇用・就労の情報提供については、市報、ホームページを活用し、相談等の開催時期を捉え適切に行いました。</p>			
課題	<p>◆市民相談では、相続、家庭、不動産の相談など、複雑で多岐にわたる生活に密着した相談内容が増加傾向にあります。引き続き、相談者に寄り添い問題解決に向けた対応が必要です。</p> <p>◆近年は、電話による勧誘や訪問販売、インターネット通販において、商品が届かない、解約ができないなどの思わぬトラブルに発展することがあるため、消費者の意識・知識の向上や的確な情報を迅速に提供する体制の充実が必要です。</p> <p>◆都の就労支援機関である東京しごとセンター多摩が国分寺に、こだいら就職情報室が福祉会館にあり、専門機関による就労・雇用支援事業が実施されています。的確な情報を提供する体制をより充実させていくことが必要です。</p>			

施策の方向性 (ACTION)										
事務事業の動向	拡大	2 本	維持	5 本	改善	0 本	縮小	1 本	廃止	0 本
施策の方向性	<p>◆市民相談については、市民にとって一番身近な相談機関として広く周知するとともに、専門相談員による相談日数を適切に設定するよう見直しを検討します。</p> <p>◆複雑化・多様化してきた消費生活相談については、国や東京都、民間の相談機関と広域的に連携するとともに、相談者や消費者への迅速・的確な情報提供や、一人ひとりの意識向上のための啓発事業についても推進します。</p> <p>◆就労・雇用に関する専門機関との連携を密にし、広く就労・雇用の機会を創出していくために、今後とも情報提供の充実に取り組んでいきます。</p> <p>◆木造住宅の耐震化補助、増・改築や修繕工事などを行う業者のあっせんについては、市報、ホームページおよび公共施設でのチラシ配布などによって、情報提供を行っています。</p>									

平成29年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	30年度の 動向	施策の 分野
1	市民課	広聴・相談事業	16,181	7,088	9,092	維持	1
2	市民課	消費生活相談事業	12,910	9,164	3,746	維持	1
3	市民課	消費者教育講座事業	1,267	68	1,199	維持	1
4	市民課	消費生活展事業	1,309	110	1,199	維持	1
5	秘書広報課	* 市報の発行事業				維持	2
6	秘書広報課	* 広報事業				拡大	2
7	都市計画課	* 耐震化促進事業				拡大	2
8	都市計画課	* 耐震化促進事業 [特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業]				縮小	2
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			31,666	16,431	15,236		

3 より充実した市民生活をめざす

事 務 事 業 評 価 票

事務事業コード	024301	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名	広聴・相談事業			
担当課	市民課		事業開始年度	昭和43年度	[実施の形態]	直営	〔実施の根拠〕法〔義務なし〕〔主体の多様性〕国・都でも実施			
【目的】	市民の考えや要望を把握して市政の参考とする。また、各種の相談により市民が抱える諸問題解決の糸口を見出す。									
【対象】	市内在住・在勤・在学の方						対象数			
【29年度の事業内容】	法律相談524件、税務相談236件、交通事故相談29件、相続・暮らしの手続相談169件、登記・成年後見相談70件、住宅・不動産相談51件、年金・労務相談31件、行政相談8件、人権・身の上相談6件、家庭相談30件、市民相談492件 合計相談件数1,646件									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	14,524	18,158	16,181	① 相談日数	目標値	243	243	244	達成	
経費	事業費	4,326	8,753		7,088	実績値	243	243		244
	人件費	10,198	9,405	9,092	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	60	75	66	効率性 上がった
	その他	0	0	0		増減率	—	25.0%	-11.3%	
一般財源	14,524	18,158	16,181	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.20	2.44	0.29	2.00	0.24	2.00				

事務事業コード	070303	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名	消費生活相談事業			
担当課	市民課		事業開始年度	昭和49年度	[実施の形態]	直営	〔実施の根拠〕法〔義務あり〕〔主体の多様性〕国・都でも実施			
【目的】	消費者と事業者間の取引に関して生じるトラブル（消費者被害）について、問題解決に向けた支援や情報提供を行う。									
【対象】	市内在住・在勤・在学の方						対象数			
【29年度の事業内容】	専門の消費生活相談員3人をローテーションで配置し、「消費生活センター」にて相談業務を実施し、1,048件の相談を受け付けた。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	12,054	12,456	12,910	① 相談窓口 日数	目標値	243	243	244	達成	
経費	事業費	8,422	8,764		9,164	実績値	243	243		244
	人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	3,994	4,341	4,692	② 単位あたり コスト	千円	50	51	53	効率性 変わらず
	その他	0	0	0		増減率	—	3.3%	3.2%	
一般財源	8,061	8,114	8,218	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00				

事務事業コード	070304	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名	消費者教育講座事業			
担当課	市民課		事業開始年度	平成14年度	[実施の形態]	直営	〔実施の根拠〕法〔義務なし〕〔主体の多様性〕国・都でも実施			
【目的】	消費生活に関する知識を修得し、その知識を適切な行動に結び付けられるよう支援する。									
【対象】	市民						対象数 191,064人			
【29年度の事業内容】	出前講座5回、夏休み親子講座1回及び消費生活講座3回を実施し、延べ329人が参加した。									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	1,224	1,243	1,267	① 講座回数	目標値	7	7	7	達成	
経費	事業費	62	62		68	実績値	5	11		9
	人件費	1,162	1,181	1,199	(単位) 回	達成率	71.4%	157.1%	128.6%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	245	113	141	効率性 下がった
	その他	0	0	0		増減率	—	-53.8%	24.6%	
一般財源	1,224	1,243	1,267	30年度の 予算・事業		維持				
職員・再任用(人)	0.16	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00				

事務事業評価票

4	事務事業コード	070306	会計	一般	予算科目	7-1-2	事業名 消費生活展事業						
	担当課	市民課		事業開始年度	昭和49年度		【実施の形態】	補助		【実施の根拠】	市要綱等〔主体の多様性〕国・都でも実施		
	【目的】	消費生活展の開催を支援することで、消費者団体の育成を図るとともに消費生活の向上を図る。											
	【対象】	市民									対象数		191,064人
	【29年度の事業内容】	消費者団体連絡会（5団体）が市からの補助金で産業まつりに参加し、消費生活展を2日間実施し、1,043人が参加した。また、市役所1階にて9日間消費生活パネル展を開催した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	1,273	1,296	1,309	① 消費者団体 連絡会会議	目標値	9	9	9	達成			
	経費	事業費	111	115		110	実績値	9	9			9	
		人件費	1,162	1,181	1,199	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	141	144	145			
その他		0	0	0	増減率		—	1.8%	1.0%				
	一般財源	1,273	1,296	1,309	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.16	0.00	0.16	0.00	0.16	0.00							

5	事務事業コード	020303	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名 市報の発行事業 *サブ(メイン施策はNo.15)						
	担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和26年度		【実施の形態】	直営		【実施の根拠】	法(義務なし)〔主体の多様性〕国・都でも実施		
	【目的】	市の施策、目標、事業等を分かりやすく伝え、市民と市との間に信頼関係を築く。											
	【対象】	市民									対象数		90,047世帯
	【29年度の事業内容】	定期（24回、毎月5日・20日、10月・1月は1日・20日）、特集号（1回）、臨時号（3回）の市報を発行した。配布方法は新聞折込、郵送、広報ボックス（50か所）、ふれあい広報ボックス（49か所）、公共施設等（40か所）、音声広報による。また、市ホームページにデジタルブック形式でも市報を掲載した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	53,240	51,670	51,748	① 市報の発行 回数	目標値	29	29	29	おおむね達成			
	経費	事業費	28,757	26,789		26,500	実績値	31	28			28	
		人件費	24,483	24,881	25,248	(単位) 回	達成率	105.2%	94.8%	96.6%	効率性 変わらず		
	財源	国都支出金	1,375	1,322	1,525	② 単位あたり コスト	千円	1,746	1,879	* 1,848			
その他		0	0	0	増減率		—	7.6%	-1.6%				
	一般財源	51,865	50,348	50,223	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	3.37	0.00	3.37	0.00	3.37	0.00							

6	事務事業コード	020304	会計	一般	予算科目	2-1-2	事業名 広報事業 *サブ(メイン施策はNo.15)						
	担当課	秘書広報課		事業開始年度	昭和26年度		【実施の形態】	直営		【実施の根拠】	法(義務なし)〔主体の多様性〕国・都でも実施		
	【目的】	市政情報等を分かりやすく迅速に伝え、市民と市との間に信頼関係を築く。											
	【対象】	市民									対象数		191,064人
	【29年度の事業内容】	広報掲示板（市内駅頭12か所）へポスターを掲示し、管理した。市民便利帳を11,000部、全図を11,000部、全図の英語版を5,000部作成し、市ホームページにデジタル版を掲載した。市ホームページ・スマートフォン用アプリ「小平トピックス」等を運営した。平成30年度の市ホームページリニューアルに向けての構築作業を行った。平成29年度の市ホームページ年間アクセス数：3,414,923件											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	24,609	24,901	38,914	① ホームページ等更新回数	目標値	1,825	1,825	1,825	達成			
	経費	事業費	12,767	12,867		26,702	実績値	3,028	3,049			3,049	
		人件費	11,842	12,034	12,212	(単位) 回	達成率	165.9%	167.1%	167.1%	効率性 下がった		
	財源	国都支出金	0	0	149	② 単位あたり コスト	千円	8	8	* 13			
その他		6,268	8,003	4,874	増減率		—	0.5%	56.3%				
	一般財源	18,341	16,898	33,891	30年度の 予算・事業	拡大		市ホームページのリニューアルのため					
職員・再任用(人)	1.63	0.00	1.63	0.00	1.63	0.00							

3 より充実した市民生活をめざす

事業事業業評価票

7	事務事業コード	081724-1	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業	*サブ(メイン施策はNo.2)			
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成17年度		【実施の形態】	補助	【実施の根拠】市要綱等【主体の多様性】市のみ実施			
	【目的】	耐震診断及び改修に要する費用の一部を補助することで、市内木造住宅等の耐震化促進を図る。										
	【対象】	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建築された木造住宅等							対象数 11,000棟			
	【29年度の事業内容】	旧耐震基準の木造住宅を対象とした耐震診断費用の補助(2分の1相当額。上限5万円。)を9件、耐震改修費用の補助(3分の1相当額。上限30万円。)を4件、ブロック塀等を対象とした改善費用の補助を7件実施した。また、市内一部地域において、個別訪問を行った。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	5,656	8,015	5,285	①	耐震診断費用補助件数	目標値	30	30	18	遅れている	
	経費	事業費	3,912	5,800		3,037	実績値	12	19	9		
		人件費	1,744	2,215	2,248	(単位)	件	達成率	40.0%	63.3%	50.0%	
	財源	国都支出金	1,283	2,359	1,563	②	単位あたり コスト	千円	471	422	587	効率性
その他		0	0	0	増減率			—	-10.5%	39.2%	下がった	
一般財源		4,373	5,656	3,722	30年度の 予算・事業	拡大	補助金の上限額を増額し、耐震化の促進を図る。					
職員・再任用(人)	0.24	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00						

8	事務事業コード	081724-2	会計	一般	予算科目	8-3-1	事業名	耐震化促進事業[特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業]	*サブ(メイン施策はNo.2)			
	担当課	都市計画課		事業開始年度	平成24年度		【実施の形態】	補助	【実施の根拠】都条例(義務あり)【主体の多様性】国・都でも実施			
	【目的】	該当沿道建築物の耐震化を図ることにより、災害時の救助活動及び物資搬送ルートの確保を図る。										
	【対象】	特定緊急輸送道路沿道建築物							対象数 11棟			
	【29年度の事業内容】	未耐震の対象建築物の所有者に対して、東京都及び設計技術者と訪問し、耐震化の必要性について啓発を行った。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	26,061	6,369	3,746	①	対象建築物所有者への訪問棟数	目標値	1	1	1	達成	
	経費	事業費	22,428	2,677		0	実績値	1	3	3		
		人件費	3,633	3,692	3,746	(単位)	棟	達成率	100.0%	300.0%	300.0%	
	財源	国都支出金	17,942	2,677	0	②	単位あたり コスト	千円	26,061	2,123	1,249	効率性
その他		0	0	0	増減率			—	-91.9%	-41.2%	上がった	
一般財源		8,119	3,692	3,746	30年度の 予算・事業	縮小	対象建築物所有者への調査により、予算を精査したもの。					
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00						

施策の概要(PPLAN)			主管課	文化スポーツ課						
長期総合計画の体系	安全・安心で、いきいきとしたまちをめざして			関係課	地域学習支援課、図書館					
No. 施策名	4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす									
施策の分野	1	新しい文化の創造・発信	2	歴史	3		4		5	
施策の展開	<長期総合計画P15> さまざまな情報や文化が活発に発信されるこれからは、21世紀にふさわしい新しい文化が創造され、多才な市民の輩出が期待されます。新しい時代にふさわしい文化の創造・発信を支援していくとともに、市内の大学などの地域交流などを通じてさらなる文化交流の輪を広げていきます。「こだいら」としてかけがえのない文化的・歴史的遺産を守り、歴史を記録し、伝えるとともに、この貴重な遺産をだれもがいつでも身近に親しむことができるように整え、広く活用をめざします。									

施策の成果指標と実績(DO)												
			単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
成果指標	①	鈴木遺跡資料館入館者数	目標	人	—	1,000	1,100	1,200	1,500			
			実績	人	1,564	1,333						
			達成率	%	—	133.3%						
	②	小平市民文化会館の年間利用者数	目標	人	—	270,000	270,000	270,000	270,000	270,000		
			実績	人	272,589	274,916						
			進捗率	%	—	101.8%						
	③	小平ふるさと村入園者数	目標	人	—	62,000	62,000	62,000	62,000	62,000		
			実績	人	65,567	61,939						
			進捗率	%	—	99.9%						
	④	平櫛田中彫刻美術館来館者数	目標	人	—	8,000	13,500	9,000	14,000	14,000		
			実績	人	10,179	8,907						
			達成率	%	—	111.3%						

施策内事業の集計		単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
総コスト計		千円	840,566	669,303			
事業費		千円	796,342	628,246			
人件費		千円	44,224	41,056			

施策の成果についての総括(CHECK)				
成果	目標達成度合い	一定の成果が上 がっている	理由	情報発信等を積極的に実施していくことを通じて、市民が文化や歴史に親しむ機会を提供することができたことから、一定の成果があると評価しました。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民文化会館及び小平ふるさと村については、小平市文化振興財団が指定管理者として、効率的な管理運営を進める中で、地域社会の文化・芸術の振興、及び郷土文化の理解、継承のため事業を展開し、豊かな市民生活の形成を図りました。 ◆鈴木遺跡国指定史跡化を目指す取組、各種イベント等により、文化財の保存と啓発を図りました。 ◆平櫛田中彫刻美術館では、展示やイベント、情報発信の取組等により、美術館の魅力向上と平櫛田中芸術等の周知向上を図りました。 ◆武蔵野美術大学、小平市文化振興財団と連携しイベントや展覧会を開催し、文化・芸術の周知向上を図りました。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民文化会館及び小平ふるさと村については、事業の数値目標を設定していることから、これに基づき、事業を展開していきます。 ◆歴史や文化財に対する市民・若い世代の関心や愛着を高めるため、情報発信や地域等との連携の取組を深める必要があります。 ◆小平市史や各史料を、どう利用し郷土を後世に伝えていくか、また歴史的資料等を、今後どう管理・保管していくかの検討が必要です。 ◆美術館が、多くの市民が文化芸術に親しむ場となるよう、継続的な館のPRと魅力アップの取組を推進する必要があります。 ◆図書館では、歴史的価値のある古文書、地域行政資料の情報発信、有効活用について積極的にPRする必要があります。 			

施策の方向性(ACTION)										
事務事業の動向	拡大	0本	維持	18本	改善	0本	縮小	1本	廃止	0本
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民文化会館については、利用者数270,000人、小平ふるさと村については、入場者数62,000人の数値目標を設定したことから、平成30年度の達成に向けて事業展開を図っていきます。 ◆鈴木遺跡の国指定史跡化を目指す取組をはじめとする文化財の保存活用を推進するとともに、歴史や文化財の魅力伝える啓発・情報発信を行います。 ◆歴史的資料などの管理・保管方法を検討するとともに、今後、情報の電子化に努め、市のホームページでの公開を容易にします。 ◆平櫛田中彫刻美術館では、特別展やイベントの開催、他の文化施設との連携等、館の魅力向上や情報発信に継続的に取組みます。 ◆図書館では、資料を充実させるとともに、資料等のデジタル化を促進し、情報発信機能をさらに拡充させます。 									

平成29年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に2次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	30年度の 動向	施策の 分野
1	文化スポーツ課	小平ふるさと村管理運営事業	40,757	38,284	2,472	維持	1
2	文化スポーツ課	国際交流事業	15,252	13,978	1,274	維持	1
3	文化スポーツ課	ふれあいの森林づくり事業	844	620	225	維持	1
4	文化スポーツ課	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業	45,181	30,197	14,984	維持	2
5	文化スポーツ課	市民文化会館管理運営事業	482,657	479,661	2,997	維持	1
6	文化スポーツ課	文化振興財団への補助事業	1,895	1,445	450	維持	1
7	文化スポーツ課	文化財保護審議会の運営事業	1,308	484	824	維持	2
8	文化スポーツ課	文化財の保存と啓発事業	11,362	5,368	5,994	維持	2
9	文化スポーツ課	研究団体育成事業	1,219	170	1,049	維持	2
10	文化スポーツ課	鈴木遺跡資料館維持管理事業	6,252	2,805	3,446	維持	2
11	文化スポーツ課	鈴木遺跡国指定史跡化推進事業	18,180	14,508	3,671	維持	2
12	文化スポーツ課	鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業	44,397	40,726	3,671	縮小	2
13	地域学習支援課	* 青少年音楽祭事業				維持	1
14	地域学習支援課	* 姉妹都市小平町との少年少女交歓交流事業				維持	1
15	地域学習支援課	* 青少年健全育成団体支援事業[吹奏楽団育成]				維持	1
16	図書館	* 古文書の収集・整理・保存事業				維持	2
17	図書館	* 地域資料の収集・整理・保存事業				維持	2
18	図書館	* 郷土写真資料の収集・整理・保存事業				維持	2
19	文化スポーツ課	* 2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業				維持	1
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			669,303	628,246	41,056		

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

事務事業コード	024504	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	小平ふるさと村管理運営事業			
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	その他	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性] 国・都でも実施	
【目的】	小平の郷土文化の理解・継承と地域の活性化									
【対象】	市民						対象数	191,064人		
【29年度の事業内容】	指定管理者である小平市文化振興財団に指定管理料を支払った。財団が建物管理料、人件費、事務費、事業費として執行した。入園者数は61,939人									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	43,105	42,210	40,757	① 開園日数	目標値	293	294	294	達成	
経費	事業費	40,707	39,773		38,284	実績値	293	294		294
	人件費	2,397	2,436	2,472	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	4,500	1,800	0	② 単位あたり コスト	千円	147	144	139	効率性 変わらず
	その他	144	153	173		増減率	—	-2.4%	-3.4%	
一般財源	38,461	40,257	40,584	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.33	0.00	0.33	0.00	0.33	0.00				

事務事業コード	024505	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	国際交流事業 *メイン(サブ施策はNo.1)			
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成2年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等	[主体の多様性] 民間でも実施	
【目的】	地域における市民レベルの外国人と市民の交流機会を増やす。									
【対象】	市民						対象数	191,064人		
【29年度の事業内容】	小平市国際交流協会へ管理運営費の一部及び事業費の一部を補助した。小平市国際交流協会主催事業の参加者は10,605人									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	14,848	15,110	15,252	① 事業数	目標値	25	26	26	達成	
経費	事業費	13,613	13,855		13,978	実績値	25	26		26
	人件費	1,235	1,255	1,274	(単位) 事業	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	594	581	587	効率性 変わらず
	その他	3,000	3,000	3,000		増減率	—	-2.1%	0.9%	
一般財源	11,848	12,110	12,252	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00				

事務事業コード	024506	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	ふれあいの森林づくり事業 *メイン(サブ施策はNo.7)			
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	昭和60年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	法(義務なし)	[主体の多様性] 国・都でも実施	
【目的】	緑資源の保護・培養及び小平町との友好交流。									
【対象】	市民と小平町民						対象数	194,246人		
【29年度の事業内容】	姉妹都市小平町の「ふれあいの森林」の作業路草刈、ふれあいの広場の管理業務を実施した。ふれあいの森林づくり分取造林契約者数は64人									
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
総コスト(千円)	1,121	1,017	844	① 維持面積	目標値	132	132	132	達成	
経費	事業費	903	796		620	実績値	132	132		132
	人件費	218	221	225	(単位) ha	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	8	8	6	効率性 上がった
	その他	0	0	0		増減率	—	-9.3%	-17.0%	
一般財源	1,121	1,017	844	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.03	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00				

事務事業評価票

事務事業コード	024507	会計	一般	予算科目	2-1-10	事業名	平櫛田中彫刻美術館管理運営事業						
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	昭和59年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	市のみ実施			
【目的】	美術館を維持管理し、作品及び施設を保全公開することにより、市民の文化の発展に寄与する。												
【対象】	市民										対象数	191,064人	
【29年度の事業内容】	特別企画展及び企画展（「春季展示」「夏季展示」「秋季展示」「冬季展示」）、イベント（「お茶会（春・秋）」「わくわく発見！親子で美術館」「ナイトミュージアム」）を実施した。また、「着物で日本文化体験ツアー（東京オリンピック・パラリンピック気運醸成事業）」、出前コンサート（小平市文化振興財団との共催事業）を実施した。来館者数は8,907人であった。												
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
総コスト(千円)	43,148	44,801	45,181	① 美術館 開館日数	目標値	302	301	300	達成				
経費	事業費	29,708	30,035		30,197	実績値	302	301					300
	人件費	13,440	14,766	14,984	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず			
財源	国都支出金	0	0	192	② 単位あたり コスト	千円	143	149	151				
	その他	6,154	9,117	7,412		増減率	—	4.2%	1.2%				
	一般財源	36,994	35,684	37,577	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	1.85	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00							

事務事業コード	024502	会計	一般	予算科目	2-1-11	事業名	市民文化会館管理運営事業						
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	その他	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	民間でも実施			
【目的】	地域社会の文化・芸術の振興、地域社会の発展及び豊かな市民生活を送る。												
【対象】	市民										対象数	191,064人	
【29年度の事業内容】	指定管理者である小平市文化振興財団に指定管理料を支払った。財団が建物管理費、人件費、事務費、事業費として執行した。空調設備の改修を行った。年間利用者数は274,916人だった。												
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
総コスト(千円)	512,723	545,077	482,657	① 開館日数	目標値	335	334	334	達成				
経費	事業費	509,817	542,124		479,661	実績値	335	334					334
	人件費	2,906	2,953	2,997	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった			
財源	国都支出金	48,655	73,020	24,200	② 単位あたり コスト	千円	1,531	1,632	1,445				
	その他	79,994	85,902	80,738		増減率	—	6.6%	-11.5%				
	一般財源	384,074	386,155	377,719	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00							

事務事業コード	024503	会計	一般	予算科目	2-1-11	事業名	文化振興財団への補助事業						
担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成5年度		[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	国・都でも実施			
【目的】	地域社会の文化・芸術の振興、地域社会の発展及び豊かな市民生活を送る。												
【対象】	市民										対象数	191,064人	
【29年度の事業内容】	小平市文化振興財団に、財団の運営費用の一部を補助した。自主事業入場者数は、延べ50,181人だった。												
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
総コスト(千円)	1,815	1,888	1,895	① 自主事業数	目標値	62	63	59	達成				
経費	事業費	1,379	1,445		1,445	実績値	62	63					59
	人件費	436	443	450	(単位) 本	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった			
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	29	30	32				
	その他	0	0	0		増減率	—	2.4%	7.1%				
	一般財源	1,815	1,888	1,895	30年度の 予算・事業	維持							
職員・再任用(人)	0.06	0.00	0.06	0.00	0.06	0.00							

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

7	事務事業コード	101121	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名	文化財保護審議会の運営事業						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和39年度		【実施の形態】	直営	【実施の根拠】	市条例			【主体の多様性】	国・都でも実施
	【目的】	文化財に関する意見具申及び調査・研究を行う。												
	【対象】	文化財保護審議会委員									対象数			10人
	【29年度の事業内容】	審議会を4回開催し、市指定文化財（天然記念物）の指定の検討・答申や、文化財指定候補の調査研究等を行った。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	1,138	1,188	1,308	① 審議会及び 視察実施回数	目標値	3	4	4	達成				
	経費	事業費	339	376		484	実績値	3	4				4	
		人件費	799	812	824	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	379	297	327				
	その他	0	0	0	増減率		—	-21.7%	10.1%					
	一般財源	1,138	1,188	1,308	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.11	0.00	0.11	0.00	0.11	0.00								

8	事務事業コード	101122	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名	文化財の保存と啓発事業						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和39年度		【実施の形態】	直営	【実施の根拠】	法(義務あり)			【主体の多様性】	国・都でも実施
	【目的】	文化財の保存及び文化財保護に対する意識の涵養等を図る。												
	【対象】	市内にある文化財及び市民									対象数			文化財21件 市民191,064人
	【29年度の事業内容】	市内遺跡調査の実施 民具の管理（平成29年度現在11,683点）及び民具収蔵庫の維持管理 文化財講座・文化財講演会・特別展等の開催												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	19,717	15,377	11,362	① 文化財特別展 等開催日数	目標値	50	56	72	達成				
	経費	事業費	13,905	9,471		5,368	実績値	50	56				72	
		人件費	5,812	5,906	5,994	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった			
	財源	国都支出金	7,654	1,473	40	② 単位あたり コスト	千円	394	275	158				
	その他	72	53	57	増減率		—	-30.4%	-42.5%					
	一般財源	11,991	13,851	11,264	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.80	0.00	0.80	0.00	0.80	0.00								

9	事務事業コード	101123	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名	研究団体育成事業						
	担当課	文化スポーツ課		事業開始年度	昭和53年度		【実施の形態】	補助	【実施の根拠】	市要綱等			【主体の多様性】	国・都でも実施
	【目的】	市内にある文化財の調査・研究及び保存活動を継続的に行う。												
	【対象】	小平郷土研究会及び小平市鈴木ばやし保存会									対象数			2団体
	【29年度の事業内容】	小平郷土研究会及び小平市鈴木ばやし保存会に補助金を交付した。												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価				
	総コスト(千円)	1,195	1,211	1,219	① 補助金交付 団体数	目標値	2	2	2	達成				
	経費	事業費	178	178		170	実績値	2	2				2	
		人件費	1,017	1,034	1,049	(単位) 団体	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	597	606	609				
	その他	0	0	0	増減率		—	1.4%	0.6%					
	一般財源	1,195	1,211	1,219	30年度の 予算・事業	維持								
職員・再任用(人)	0.14	0.00	0.14	0.00	0.14	0.00								

事務事業評価票

10	事務事業コード	101124	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡資料館維持管理事業					
	担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	昭和56年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	市要綱等			[主体の多様性] 国・都でも実施
	【目的】	鈴木遺跡の発掘品等を展示している鈴木遺跡資料館の維持管理を行う。										
	【対象】	鈴木遺跡資料館							対象数 1館			
	【29年度の事業内容】	施設の維持管理を行った。 開館日：水曜日・土曜日・日曜日・休祝日（年末年始を除く）163日間開館した。入館無料。 展示室を活用し、文化財講座、小平の遺跡をあるく・文化財特別展・文化財ギャラリートーク等の事業を実施した。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	5,366	5,471	6,252	① 開館日数	目標値	164	168	163	達成		
	経費	事業費	2,024	2,075		2,805	実績値	164	168		163	
		人件費	3,342	3,396	3,446	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	33	33	38	効率性	
その他		0	0	0	増減率		—	-0.5%	17.8%	下がった		
	一般財源	5,366	5,471	6,252	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.46	0.00	0.46	0.00	0.46	0.00						

11	事務事業コード	101125	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡国指定史跡化推進事業					
	担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成25年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他			[主体の多様性] 国・都でも実施
	【目的】	鈴木遺跡の国指定史跡化を推進し、その保存・活用を図る。										
	【対象】	鈴木遺跡							対象数 1件			
	【29年度の事業内容】	鈴木遺跡発掘調査総括報告書作成委員会を3回開催した。 鈴木遺跡発掘調査総括整理及び鈴木遺跡総括報告書基礎資料作成を業務委託等により実施した。 鈴木遺跡出土黒曜石製石器の蛍光X線産地分析（その2）を行った。 鈴木遺跡総括報告書編集作業を実施した。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	15,846	13,271	18,180	① 作成委員会 開催回数	目標値	3	3	3	達成		
	経費	事業費	12,286	9,653		14,508	実績値	3	3		3	
		人件費	3,560	3,618	3,671	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	9,966	8,160	13,257	② 単位あたり コスト	千円	5,282	4,424	6,060	効率性	
その他		0	0	0	増減率		—	-16.2%	37.0%	下がった		
	一般財源	5,880	5,111	4,923	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.49	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00						

12	事務事業コード	101126	会計	一般	予算科目	10-4-4	事業名 鈴木遺跡保存管理等用地の整備事業					
	担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成27年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他			[主体の多様性] 国・都でも実施
	【目的】	農林中央金庫から寄付を受けた鈴木遺跡保存管理等用地を整備し、鈴木遺跡の保存・保護と活用を図る。										
	【対象】	鈴木遺跡及び市民							対象数 文化財1件 市民191,064人			
	【29年度の事業内容】	プール解体・仮設フェンス設置工事を行った。また、用地整備のための基礎調査等を実施した。このほか、樹木剪定及び除草、用地フェンス保守点検など、用地内の維持管理を行った。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	17,681	140,296	44,397	① 対象面積	目標値	14,352	14,352	14,352	達成		
	経費	事業費	14,122	136,679		40,726	実績値	14,352	14,352		14,352	
		人件費	3,560	3,618	3,671	(単位) m ²	達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
	財源	国都支出金	0	99	0	② 単位あたり コスト	千円	1	10	3	効率性	
その他		0	0	0	増減率		—	693.4%	-68.4%	上がった		
	一般財源	17,681	140,197	44,397	30年度の 予算・事業	縮小		各種工事が終了したことによる減				
職員・再任用(人)	0.49	0.00	0.49	0.00	0.49	0.00						

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

13	事務事業コード	100918	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名	青少年音楽祭事業	*サブ(メイン施策はNo.10-2)			
	担当課	地域学習支援課	事業開始年度	平成元年度	[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	民間でも実施		
	【目的】	音楽発表の場を提供し、青少年の音楽活動を促進することにより、青少年の健全育成を図る。										
	【対象】	小学生以上で市内在住、在学、在勤の青少年								対象数 36,421人		
	【29年度の事業内容】	第29回青少年音楽祭の開催(平成29年10月29日(日)、ルネこだいら大ホール、18組320人出演)青少年委員の企画・運営により、小平青少年吹奏楽団の協力を得て実施した。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	1,298	1,346	1,437	① 音楽祭 実施回数	目標値	1	1	1	達成		
	経費	事業費	426	460		538	実績値	1	1			1
		人件費	872	886	899	(単位) 回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 下がった	
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	1,298	1,346	1,437		
	その他	0	0	0	増減率		—	3.7%	6.7%			
	一般財源	1,298	1,346	1,437	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.12	0.00	0.12	0.00	0.12	0.00						

14	事務事業コード	100921	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名	姉妹都市小平町との少年少女交歓交流事業	*サブ(メイン施策はNo.10-2)			
	担当課	地域学習支援課	事業開始年度	昭和54年度	[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	市のみ実施		
	【目的】	参加者が親睦と両市町の理解を深め見聞を広めて、郷土社会の発展に寄与することを目指す。										
	【対象】	小平市及び小平町在住の小学5・6年生、中学1年生								対象数 3,243人		
	【29年度の事業内容】	平成29年8月7日(月)～11日(金・祝)に小平市20人・小平町20人の参加者が、小平町において交流。町長表敬訪問、旧花田家番屋見学、カニ釣り大会、化石発掘や海洋スポーツなどを体験し、交流を深めた。また、事業日以外に事前研修2回・事後研修1回を行った。										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	3,039	3,860	2,926	① 事業実施 日数	目標値	8	7	8	達成		
	経費	事業費	1,368	1,645		1,203	実績値	8	7			8
		人件費	1,671	2,215	1,723	(単位) 日	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった	
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	380	551	366		
	その他	0	215	0	増減率		—	45.1%	-33.7%			
	一般財源	3,039	3,645	2,926	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.23	0.00	0.30	0.00	0.23	0.00						

15	事務事業コード	100922-2	会計	一般	予算科目	10-4-3	事業名	青少年健全育成団体支援事業[吹奏楽団 育成]	*サブ(メイン施策はNo.10-2)			
	担当課	地域学習支援課	事業開始年度	昭和62年度	[実施の形態]	補助	[実施の根拠]	市要綱等	[主体の多様性]	市のみ実施		
	【目的】	小平青少年吹奏楽団の活動を充実・活発化することにより、青少年の健全育成を図る。										
	【対象】	小平青少年吹奏楽団								対象数 1団体		
	【29年度の事業内容】	・小平青少年吹奏楽団への補助金交付500,000円 ・小平青少年吹奏楽団への楽器の貸与										
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
	総コスト(千円)	645	648	650	① 楽団員数	目標値	40	40	40	おおむね達成		
	経費	事業費	500	500		500	実績値	30	30			30
		人件費	145	148	150	(単位) 人	達成率	75.0%	75.0%	75.0%	効率性 変わらず	
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	22	22	22		
	その他	0	0	0	増減率		—	0.4%	0.3%			
	一般財源	645	648	650	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00						

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事業事業評価票

16	事務事業コード	101504	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	古文書の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和51年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施					
	【目的】	地域の歴史研究に不可欠な原資料を収集、保存し、資料提供を図る。											
	【対象】	歴史的な記録(古文書)							対象数				30,679点
	【29年度の事業内容】	市史編さん事業の中で整理され、図書館に移管された古文書について、スキャナーで取り込みデータのデジタル化処理作業(8家6,963枚)を進め、これまでスキャナーで取り込んだ画像のうち、小川村の諸家(14家)については、DVD13枚に複製した。また、小川家文書の「御用留」について、手書釈文からPC入力作業を進めた。なお、小平の地域資料(古文書)の活用・情報発信を進めるために展示及び講演会「古文書が語る小平の歴史」を開催した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	5,057	4,743	4,449	① デジタル化 処理件数	目標値	10,000	10,000	8,000	おおむね達成			
	経費	事業費	3,972	3,642		3,700	実績値	4,680	12,254			6,963	
		人件費	1,085	1,102	749	(単位) 枚	達成率	46.8%	122.5%	87.0%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	1	0	1	効率性		
その他		39	42	27	増減率		—	-64.2%	65.1%	下がった			
一般財源	5,018	4,701	4,422	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00						

17	事務事業コード	101505	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	地域資料の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和50年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施					
	【目的】	地域の課題解決に必要な資料の充実と効果的な運用を図る。											
	【対象】	地域の資料・情報							対象数				68,793点
	【29年度の事業内容】	行政資料を初め、地域の生活や課題解決に役立つ地域に関する資料を収集、貸出しをして、情報支援を行った。平成29年度の地域行政資料の貸出数は10,430点であった。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	4,357	4,313	4,357	① 加除冊数	目標値	1,500	2,000	2,500	達成			
	経費	事業費	725	622		611	実績値	1,669	2,136			2,927	
		人件費	3,633	3,692	3,746	(単位) 冊	達成率	111.3%	106.8%	117.1%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	3	2	1	効率性		
その他		240	220	164	増減率		—	-22.7%	-26.3%	上がった			
一般財源	4,117	4,093	4,193	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00							

18	事務事業コード	101520	会計	一般	予算科目	10-4-6	事業名	郷土写真資料の収集・整理・保存事業 *サブ(メイン施策はNo.11-2)					
	担当課	図書館		事業開始年度	昭和56年度		[実施の形態]	直営 [実施の根拠] 法(義務なし) [主体の多様性] 市のみ実施					
	【目的】	資料を収集、整理、保存し、効率的な運用を図る。											
	【対象】	郷土に関する写真資料							対象数				57,581点
	【29年度の事業内容】	市内で定点撮影を行い、写真資料の収集、整理、保存をすることで、多様な資料のそろった図書館となるとともに郷土への理解と愛着を深めた。写真の保存についてはデジタル化を進め、平成29年度は1,181件のデータを入力した。											
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	2,051	2,081	2,099	① 定点箇所	目標値	45	51	52	達成			
	経費	事業費	235	235		226	実績値	45	51			52	
		人件費	1,816	1,846	1,873	(単位) 箇所	達成率	100.0%	100.0%	100.0%			
	財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	46	41	40	効率性		
その他		0	0	0	増減率		—	-10.5%	-1.1%	変わらず			
一般財源	2,051	2,081	2,099	30年度の 予算・事業		維持							
職員・再任用(人)	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00							

4 新しい文化の創造と文化遺産の保存をめざす

事務事業評価票

19	事務事業コード	101128-1	会計	一般	予算科目	10-5-1	事業名	2020年オリンピック・パラリンピックの成功に向けた支援事業 *サブ(メイン施策はNo.11-3)			
	担当課	文化スポーツ課	事業開始年度	平成27年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし)	[主体の多様性]	国・都でも実施
	【目的】	東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成を図り、スポーツ及び文化の振興につなげる。									
	【対象】	市民								対象数	191,064人
	【29年度の事業内容】	東京都のスポーツ振興等事業費補助金を活用して、以下の4つの事業を実施した。 ①オリンピック・パラリンピック理解促進事業 ②スポーツの普及啓発事業 ③海外の来訪者の受入体制整備事業 ④障がい者スポーツ地域振興事業									
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価	
	総コスト(千円)	6,363	9,092	6,012	① 事業実施回数	目標値	8	9	9	達成	
	経費	事業費	4,183	6,877		3,764	実績値	8	10		9
		人件費	2,180	2,215	2,248	(単位) 回	達成率	100.0%	111.1%	100.0%	
	財源	国都支出金	2,336	3,710	2,009	② 単位あたりコスト	千円	795	909	668	効率性 上がった
その他		0	0	0	増減率		—	14.3%	-26.5%		
一般財源		4,027	5,382	4,003	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00					

施策の概要(PLAN)			主管課	水と緑と公園課			
長期総合計画の体系	快適で、ほんわかとするまちをめざして			関係課			
No. 施策名	5 貴重な緑を生み出す						
施策の分野	1 公園と緑	2 公共の緑	3	4	5		
施策の展開	市民、行政を問わず、宅地や空間地の緑化や屋上・壁面緑化をはじめとして、緑の保全とともに新たな緑を生み出し、また環境にやさしい自然豊かな特色ある公園の実現をめざします。 玉川上水、野火止用水、狭山・境緑道などの自然が豊かな貴重な財産の活用については、さらに多くの市民に愛され利用されるために、関係機関と連携してその魅力を増すことに努めます。また事業所などについても、生垣や植栽などで緑の公共性を高め、環境にやさしい身近な緑を積極的に生み出していくことを進めます。						

施策の成果指標と実績(DO)				単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
成果指標	①	こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数	目標	回	—	9	9	9	9
			実績	回	9	10			
			達成率	%	—	111.1%			
	②	公園等アダプト制度の導入公園数	目標	箇所	—	5	8	10	10
			実績	箇所	2	5			
			進捗率	%	—	50.0%			
	③	「みどりの骨格」の近隣の公園の再整備数	目標	箇所	—	1	2	3	4
			実績	箇所		2			
			進捗率	%	—	50.0%			
	④	公園面積	目標	—	—	—	—	—	—
			実績	m ²	349,048	356,165			
			進捗率	%	—	—			

施策内事業の集計		単位	基準年度 28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
総コスト計		千円	446,033	405,086			
事業費		千円	400,259	359,160			
人件費		千円	45,775	45,926			

施策の成果についての総括(CHECK)				
成果	目標達成度合い	順調に成果が上 がっている	理由	こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数が目標を上回り、公園等アダプト制度の導入公園数が、目標どおりの実績となっているため。
	<ul style="list-style-type: none"> ◆こだいら花いっぱいプロジェクトの活動実施数は目標を上回りました。 ◆公園等アダプト制度の導入公園数について、平成28年度登録の2公園に加えて、新たに3公園で登録を行いました。 ◆「ひかりが丘公園」のリニューアル及び「たけのこ公園」のトイレの全面改修を実施しました。また、都市計画公園の整備に向けたアンケート調査を実施し、報告書を作成するなど、多くの成果がありました。 ◆グリーンフェスティバル事業については、イベントに約6,700人が来場し、より多くの人へ緑の保護と緑化に関する意識啓発を行うことができました。 ◆適切なみどり政策を推進していくために、小平市みどりの基本計画2010の重点施策についての進捗状況を把握しました。 			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園施設については、全国的に発生している倒木事故や遊具事故を予防するための取組が必要です。 ◆グリーンフェスティバル事業については、引き続きイベントへの参加団体を増やすなど、より多くの市民の参加を得て啓発事業の推進を図ることが必要です。 ◆名木剪定補助金の申請が少ないため、より多くの名木所有者に活用していただく必要があります。 ◆公園等アダプト制度の導入公園数について、公園数は目標どおりの登録実績となっていますが、登録時及び登録後の作業範囲の拡大が課題となっています。 			

施策の方向性(ACTION)										
事務事業の動向	拡大	0 本	維持	7 本	改善	0 本	縮小	0 本	廃止	0 本
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ◆公園等アダプト制度の導入公園数については、平成30年度に新たに3公園の登録を目指し、取り組んでいきます。 ◆良好な緑空間を維持するため、保存樹林、緑道などを計画的に管理し、安全で安心して市民が身近な緑を実感できるような緑地、緑道の管理を行っていきます。 ◆市民参加・協働による樹林の管理を推進し、特別緑地保全地区及び保存樹林の保全に努めます。 ◆公園内の高木について必要に応じて診断等を行い、危険なものは積極的に更新します。また、他の施設については、引き続きパトロールや委託による点検を行い、撤去・修繕・更新を講じていきます。 ◆積極的に小規模公園のリニューアルを行うなど、質の高い公園づくりをめざします。 ◆保存樹木、保存生垣、生垣造成、名木百選への補助金制度を活用し、より多くの緑を保全するとともに、緑化の推進に努めます。 									

平成29年度事務事業評価結果一覧

「*」印は、この施策が“サブ施策”となっている事業(この施策に二次的に関与している事業)

番号	担当課	事業名	総コスト (千円)	事業費 (千円)	人件費 (千円)	30年度 の動向	施策の 分野
1	水と緑と公園課	公園の維持管理事業	328,976	310,246	18,730	維持	1
2	水と緑と公園課	緑道の整備と維持管理事業	17,133	13,686	3,446	維持	2
3	水と緑と公園課	公園整備事業	5,166	4,042	1,124	維持	1
4	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[緑の保護]	38,601	26,389	12,212	維持	1・2
5	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[緑化の推進]	11,688	3,147	8,541	維持	1・2
6	水と緑と公園課	緑の保護と緑化の推進事業[こだいら名木百選]	909	160	749	維持	1・2
7	水と緑と公園課	グリーンフェスティバル事業	2,613	1,490	1,124	維持	1・2
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
合計			405,086	359,160	45,926		

5 貴重な緑を生み出す

事務事業評価票

事務事業コード	081105	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	公園の維持管理事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	法(義務あり)	[主体の多様性]	市のみ実施	
【目的】	公園の適正管理に努める。										
【対象】	市内の都市計画公園(36公園)及びその他の条例公園(277公園)							対象数 313公園			
【29年度の事業内容】	市立全313公園について清掃等の維持管理を行った。なお、平成29年度においては、樹木剪定は130公園、施設等の修繕は120公園で実施した。										
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
総コスト(千円)	278,080	280,128	328,976	① 市立公園数	目標値	298	304	307	達成		
経費	事業費	259,917	261,670		310,246	実績値	304	307			313
	人件費	18,163	18,458	18,730	(単位) 公園	達成率	102.0%	101.0%	102.0%	効率性 下がった	
財源	国都支出金	0	0	9,230	② 単位あたり コスト	千円	915	912	1,051		
	その他	9,685	13,482	51,880		増減率	—	-0.2%	15.2%		
	一般財源	268,394	266,646	267,865	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	2.50	0.00	2.50	0.00	2.50	0.00					

事務事業コード	081106	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	緑道の整備と維持管理事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度		[実施の形態]	委託	[実施の根拠]	市条例	[主体の多様性]	国・都でも実施	
【目的】	市民が安心して利用できる緑道づくりを行う。										
【対象】	野火止用水・玉川上水・草花街道の緑道							対象数 201,782㎡			
【29年度の事業内容】	玉川上水緑道の植生管理、フットライトの維持管理及び野火止用水緑道の清掃・植生管理、松枯れ防止保全管理を実施した。緑道の整備では、玉川上水緑道において、貫井橋から小金井橋の左岸でゴムチップ舗装の劣化箇所への修繕を行った。また、草花街道緑道において、平成26年度から実施している段差解消の修繕を引き続き実施した。その他、緑道に生育している植栽の伐採及び剪定、草刈及び清掃等を実施した。										
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
総コスト(千円)	16,154	16,925	17,133	① 維持管理 面積	目標値	201,782	201,782	201,782	達成		
経費	事業費	12,158	13,455		13,686	実績値	201,782	201,782			201,782
	人件費	3,996	3,470	3,446	(単位) m ²	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 変わらず	
財源	国都支出金	3,892	3,925	3,910	② 単位あたり コスト	円	80	84	85		
	その他	0	560	0		増減率	—	4.8%	1.2%		
	一般財源	12,261	12,440	13,223	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.55	0.00	0.47	0.00	0.46	0.00					

事務事業コード	081107	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名	公園整備事業				
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	法(義務なし)	[主体の多様性]	市のみ実施	
【目的】	既存公園の機能回復及び充実化並びに新設公園の検討及び整備を行う。										
【対象】	市立公園							対象数 313公園			
【29年度の事業内容】	都市計画公園として決定している現在未整備の鎌倉公園について、周辺住民に対し、整備に向けたアンケート調査を行った。また、小平グリーンロードに近いたけのこ公園の老朽化したトイレの全面改修を実施した。										
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
総コスト(千円)	24,387	36,403	5,166	① 整備公園数	目標値	2	1	1	達成		
経費	事業費	20,028	35,074		4,042	実績値	2	1			1
	人件費	4,359	1,329	1,124	(単位) 公園	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	効率性 上がった	
財源	国都支出金	14,500	21,000	686	② 単位あたり コスト	千円	12,193	36,403	5,166		
	その他	0	0	0		増減率	—	198.6%	-85.8%		
	一般財源	9,887	15,403	4,480	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	0.60	0.00	0.18	0.00	0.15	0.00					

事務事業評価票

事務事業コード	081108-1	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名			緑の保護と緑化の推進事業〔緑の保護〕			
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度		〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕	市条例	〔主体の多様性〕	市のみ実施		
【目的】	今ある緑を良好な状態で保全し、自然環境の維持を図る。											
【対象】	保存樹木・樹林・竹林・生垣及び当該所有者、保全活動参加者等								対象数			1,217本
【29年度の事業内容】	保存樹木の剪定に対する補助、保存樹林・保存竹林に対する固定資産税及び都市計画税の非課税措置及び維持管理補助、保存生垣に対する維持管理補助、保存樹木等に係る賠償責任保険への加入、保存樹林保全活動等の参加者の行事保険への加入、森のカルテづくりアドバイザー等への謝礼、森のカルテづくり報告書印刷等を行った。(平成29年度末 保存樹木本数1,217本)											
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
総コスト(千円)	97,954	38,551	38,601	① 保存樹木 剪定本数	目標値	70	70	70	おおむね達成			
経費	事業費	86,330	26,738		26,389	実績値	82	40				55
	人件費	11,624	11,813	12,212	(単位) 本	達成率	117.1%	57.1%	78.6%	効率性 上がった		
財源	国都支出金	16,600	0	0	② 単位あたり コスト	千円	* 85	* 128	* 110			
	その他	6,568	7,743	7,859		増減率	—	50.8%	-14.1%			
	一般財源	74,786	30,808	30,742	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	1.60	0.00	1.60	0.00	1.63	0.00						

事務事業コード	081108-2	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名			緑の保護と緑化の推進事業〔緑化の推進〕		
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度		〔実施の形態〕	補助	〔実施の根拠〕	市要綱等	〔主体の多様性〕	市のみ実施	
【目的】	新たな緑を創出し、自然環境の向上を図る。										
【対象】	市民、小平市緑と花いっぱい運動の会等								対象数		
【29年度の事業内容】	生垣造成に対する補助、小平市緑と花いっぱい運動の会に対する補助、小平市緑化推進委員会の運営(委員謝礼)、市民が自宅の庭やベランダでビオトープを創出できるよう公募市民への促進リーフレット及び苗木の配布、みどりの相談員への謝礼等を行った。(生垣造成延長 91.9m)										
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価		
総コスト(千円)	11,964	70,510	11,688	① 補助金交付 申請件数	目標値	15	15	10	遅れている		
経費	事業費	3,246	61,650		3,147	実績値	8	8			
	人件費	8,718	8,860	8,541	(単位) 件	達成率	53.3%	53.3%	70.0%	効率性 上がった	
財源	国都支出金	499	8,253	327	② 単位あたり コスト	千円	* 244	* 310	* 226		
	その他	0	45,000	0		増減率	—	27.0%	-27.2%		
	一般財源	11,465	17,257	11,361	30年度の 予算・事業	維持					
職員・再任用(人)	1.20	0.00	1.20	0.00	1.14	0.00					

事務事業コード	081108-3	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名			緑の保護と緑化の推進事業〔こだいら名木百選〕			
担当課	水と緑と公園課		事業開始年度	平成24年度	〔実施の形態〕	直営	〔実施の根拠〕	市要綱等	〔主体の多様性〕	市のみ実施		
【目的】	名木の保全を図り、緑の保護と緑化の推進に関する市民の意識を啓発する。											
【対象】	市民								対象数			191,064人
【29年度の事業内容】	名木の剪定に対する補助金の交付を実施し、名木の保全を図った。また、昨年度に引き続き、市内公共施設でこだいら名木百選を紹介するガイドマップを配布した。											
財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標 活動単位コスト		27年度	28年度	29年度	評価			
総コスト(千円)	775	1,062	909	① 名木の 剪定本数	目標値	21	15	8	未達成			
経費	事業費	48	324		160	実績値	1	0				2
	人件費	727	738	749	(単位) 本	達成率	4.8%	0.0%	25.0%	効率性 —		
財源	国都支出金	0	0	0	② 単位あたり コスト	千円	775	—	455			
	その他	0	0	0		増減率	—	—	—			
	一般財源	775	1,062	909	30年度の 予算・事業	維持						
職員・再任用(人)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00						

5 貴重な緑を生み出す

事 務 事 業 評 価 票

7	事務事業コード	081110	会計	一般	予算科目	8-3-3	事業名			グリーンフェスティバル事業				
	担当課	水と緑と公園課		事業開始年度	平成4年度		[実施の形態]	直営	[実施の根拠]	その他	[主体の多様性]	市のみ実施		
	【目的】	花やみどりに親しみ、身近な緑化を進める。												
	【対象】	市民									対象数			191,064人
	【29年度の事業内容】	花やみどりに関係する団体と市が運営委員会を組織し、苗木の無料配布、食物資源堆肥の無料配布、カブトムシの幼虫無料配布、種苗交換会、各種体験（巣箱づくり、クイズ、紙すき、クラフト、押し花、ブーケづくり等）、小平産の農作物及び草花、飲食物の販売、ステージイベント等を実施した。 (平成29年度 グリーンフェスティバル 来場者数 約6,700人)												
	財務内容	27年度	28年度	29年度	活動指標			27年度	28年度	29年度	評価			
	総コスト(千円)	2,402	2,455	2,613	活動単位コスト									
	経費	事業費	1,312	1,348	1,490	① 参加団体数	目標値	26	26	26	達成			
		人件費	1,090	1,107	1,124		実績値	22	25	27				
	財源	国都支出金	0	0	0	(単位) 店	達成率	84.6%	96.2%	103.8%	効率性			
その他		0	0	0	千円		109	98	97					
一般財源		2,402	2,455	2,613	② 単位あたりコスト	増減率	—	-10.0%	-1.4%	変わらず				
職員・再任用(人)		0.15	0.00	0.15		0.00	0.15	0.00	0.15			0.00		
				30年度の 予算・事業	維持									